

令和7年度要覧



埼玉県立

歴史と民俗の博物館

Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

設置の目的・事業

埼玉県立歴史と民俗の博物館設置の目的は、資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図ることにより、教育や学術、文化の発展に寄与することにある。

その目的を達成するために、次の事業を行っている。

- 1 郷土埼玉の文化を総合的に捉え、その変遷と発展を知るための歴史及び民俗資料等について調査研究し、収集・保管し、展示する。
- 2 資料を適正に管理するとともに、文化財保存機関としての事業を行う。
- 3 資料の利用に関する必要な解説、案内、指導、助言等を行う。
- 4 資料に関する講演会、講習会、実演会、研究会等を主催し、開催を支援する。
- 5 資料に関する案内書、解説書、図録、調査報告書等を刊行し、頒布する。
- 6 他の博物館、学校その他の関係機関等と協力し、その活動を支援する。
- 7 その他当館の目的を達成するために必要な事業を行う。

もくじ

埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命	1
沿 革	2
令和7年度事業計画	4
令和6年度事業報告	15
令和6年度利用者数	27
展示概要等	28
組織及び職員構成	31
施設設備	33
資 料	36
利用案内	40

埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命

1 本館の使命

本館は、埼玉の歴史と民俗に関する資料を収集・保管し、総合的に調査研究することにより、埼玉の地域的特性を明らかにし、その成果を展示公開・情報発信するとともに、県民の学習活動や交流の場となることにより、県民各層の心豊かな暮らしと新たな文化の創造に寄与する博物館です。

私たちは、博物館に携わるすべてのマンパワーと資源を駆使して、埼玉の魅力をアピールするとともに、県民と協働した生涯学習を推進する中核的生涯学習施設としての役割を果たします。

- 1 県民共有の文化遺産である埼玉の歴史・民俗・美術工芸に関する資料を収集・保管・活用するとともに、調査研究して、次世代に継承します。
- 2 埼玉の歴史と民俗に関する地域的特性を明らかにした調査研究の成果を展示公開するとともに、国内外に情報発信します。
- 3 地域や学校と連携することにより、県民の参画と交流による学習の場として、埼玉の歴史や民俗に関する生涯学習や学校教育を支援します。
- 4 県内の博物館ネットワークの中核的施設として、市町村の歴史・民俗系の博物館を中心に、その事業や活動を支援します。
- 5 ボランティアやミュージアムクルーの育成・活用等を積極的に進めるとともに、様々な事業において、学校や地域社会の幅広い人材と広く連携・協働し、開かれた博物館活動を展開します。
- 6 埼玉の歴史や民俗に関する資料を核にして県民が集い、交流し、活動するやすらぎと潤いのある快適空間を提供します。

【 本館の経緯 】

本館は、旧県立博物館と旧県立民俗文化センターを統合し、平成18年4月1日に誕生した歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である。

母体となった2館のうち、旧県立博物館は、昭和46年11月、明治4年の埼玉県誕生から100年を記念して、人文系総合博物館として開館した。その後、昭和57年11月の県立近代美術館の開館を機に、展示室を全面的に改装して歴史系博物館に衣替えし、昭和58年11月に新装開館した。

一方、昭和55年11月に開所した旧県立民俗文化センターは、民俗芸能及び民俗工芸を調査研究の対象とする施設として全国に先駆けた存在であった。

その後、平成17年2月に策定された「県立博物館施設再編整備計画」により両館が統合され、収蔵資料はもとより長年培ってきた調査研究の成果を結集して、新たに「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として発足した。

沿革

昭和

- 34年12月 埼玉県立博物館の設置についての請願を
県議会において採択
- 43年8月 埼玉県立博物館建設基本構想を決定
- 11月 設計を(株)前川國男建築設計事務所へ委託
- 44年9月 博物館建設工事費として13億円を計上
- 10月 県立文化会館を廃止し、新たに県立博物館
準備事務所を県立浦和図書館内に設置
- 46年11月 埼玉県立博物館条例を制定、開館**
- 47年9月 「太平記絵巻(巻第一)」を購入
- 12月 博物館法第11条に基づく登録博物館となる
- 51年1月 文化財保護法第48条に基づく国宝・重要文
化財の勧告・承認出品の展示館となる
- 52年4月 5月5日(祝)を開館日とする
- 55年4月 4月29日(祝)、5月3日(祝)を開館日
とする
- 11月 埼玉県立民俗文化センター開所**
- 58年11月 埼玉県立博物館新装開館、開館記念特別展
「武蔵武士」開催
- 12月 国宝「太刀」(銘備前国長船住左兵衛尉景光)
を購入
- 60年4月 エントランスホール、館庭等を無料開放
元日を除く国民の祝日を開館日とする

平成

- 3年10月 開館20周年記念展「さいたまの名宝」
開催、記念図録出版
- 5年4月 国宝「短刀」(銘備州長船住景光)を購入
- 6年3月 障害者対応型エレベータ設置
- 6年4月 高齢者(65歳以上)及び障害者等の入館料
無料化
幼児コーナー及び休憩コーナーを開設
- 7年4月 義務教育終了前の者の入館料無料化
- 10月 「太平記絵巻(巻第七)」を購入
- 8年4月 「太平記絵巻(巻第二)」を購入

平成

- 10年6月 インターネットのホームページ開設
- 11月 当館が「公共建築百選」に選定
- 12年5月 拡大常設展「博物館の広場」開催
- 13年11月 「太平記絵巻(巻第十)」を購入
- 14年5月 2002 FIFA ワールドカップ™ 記念特別展
「蹴鞠-KEMARI-」開催
- 7月 「太平記絵巻(巻第六)」を購入
- 11月 当館が第4回日本建築家協会25年賞受賞
- 16年10月 清子内親王殿下 お成り
- 18年4月 県立博物館施設再編整備計画により、埼玉
県立博物館と埼玉県立民俗文化センターを
統合、埼玉県立歴史と民俗の博物館設置**
- 19年3月 関東地区博物館協会初の共同企画展「祈り
の風景-埼玉の絵馬-」開催
- 4月 体験学習施設「ゆめ・体験ひろば」を開設
- 20年3月 大規模改修及び耐震補強工事第I期完了
- 21年10月 交流企画展「出張博物館 in 深谷」開催
「まなびピア埼玉2009」出展
- 22年2月 大規模改修工事第II期完了
- 23年3月 大規模改修工事第III期完了
階段昇降機設置
- 24年9月 天皇皇后両陛下 行幸啓
- 25年6月 秋篠宮文仁親王殿下 お成り
- 7月 65歳以上の観覧料減免措置廃止
- 26年8月 入館者累計500万人達成
- 28年2月 特別展示室非構造部材耐震対策工事完了
- 29年3月 南通用門の開放及びゆめ・体験ひろばに自
動ドアを設置
- 31年2月 Saitama Free Wi-Fi設置、運用開始
- 令和
- 2年2月 感染症感染拡大防止のため臨時休館(～5月)
- 12月 感染症感染拡大防止のため臨時休館(～3月)
- 3年3月 NHK大河ドラマ特別展「青天を衝け～渋沢栄
一のまなざし～」開催

- 3年9月 開館50周年記念事業を実施（～12月）
10月 埼玉150周年及び開館50周年記念特別
展「埼玉考古50選」開催
- 4年12月 大規模改修工事第I期開始
- 5年9月 大規模改修工事第I期完了
- 7年1月 入館者累計600万人達成

令和7年度 事業計画

◆事業運営の基本方針

1 事業運営の方針

平成18年4月、当館は、歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として再出発して以来、その使命を果たすべく取り組んできた。

令和7年度は、博物館事業の基本となる埼玉の歴史と民俗に関する資料を適切に収集・保存・修復し、総合的に調査研究することにより、埼玉らしさを明らかにする。そしてその成果を展示公開するなど最大限に活用を図り、国内外への情報発信に努める。学習支援事業を推進し、学校や地域等との連携を深め、県民利用の一層の促進を図る。地域文化及び学術研究施設として、県内の博物館施設のセンター的役割を果たすべく努力する。

さらに、少子高齢化やグローバル化の進展など社会情勢の変化に対応し、県民を中心に世界中の人々が誰でも参加できる親しみやすい事業運営に努めるとともに、多様な人材の育成及び生涯にわたる学びを支援できるよう工夫する。また、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえながら、世代を超えて、すべての人をやさしく迎え、すべての人が楽しめる博物館を目指す。

【主な施策】

- (1) 調査研究に基づく、資料の収集・保管と展示の充実
- (2) 常設展及び特別展・企画展に関わる調査と資料収集、展示の充実
- (3) 県民の学習支援の推進と講座・講習会等の充実
- (4) 体験学習・展示解説ボランティア活動の促進
- (5) 高度情報化に対応した広聴・広報活動の充実
- (6) 学校教育・社会教育・地域社会・民間団体等との連携

2 事業運営の重点的な取組

- (1) 埼玉の地域的特性を明らかにする組織的、継続的な文化遺産を対象とする調査研究の実施
- (2) 総合的有害生物管理と資料総点検作業の計画的な実施

【中期的な目標と取組（1）】

- (3) 「埼玉ならではの価値」を発信する魅力的な企画展の開催

【中期的な目標と取組（1）】

- (4) 「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた学校教育との連携の強化

【中期的な目標と取組（3）】

- (5) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会等関係機関との連携による地域の魅力発信
- (6) 博物館ホームページの充実やSNSの活用、関係機関等との連携による戦略的広報の推進

【中期的な目標と取組（2）】

- (7) 安心・安全で快適な空間を提供する改修工事を始めとする施設の充実

【中期的な目標と取組（4）】

◆主要事業計画

1 中期的な目標と取組

- (1) 研究テーマに基づく調査研究と展示公開の取組（令和5年度～10年度）
 - ① チームによる調査研究の継続実施と展示計画の検討
 - ② 中期的な調査研究テーマの検討に基づくチーム編成と調査開始、展示公開へ向けたスケジュールの検討（令和7年度～8年度）
- (2) ホームページやSNSを駆使した効果的な情報発信の取組（令和5年度～7年度）
 - ① ホームページ「スタッフブログ」及び「（仮）学芸員ノート」の充実
 - ② 館有資料に関するデジタルコンテンツの制作と公開
 - ③ 情報発信に係る委員会等による効果的で効率的な情報発信の検討
- (3) GIGAスクール構想を踏まえ、ICTを効果的に活用した学校連携の強化（令和5年度～9年度）
 - ① 学校のニーズに合致したオンライン授業の研究・実施
 - ② 社会科見学に対応した2次元バーコード読み取りとホームページの連動による展示解説の充実
- (4) 誰もが利用しやすく理解しやすい館内・展示環境実現の取組（令和5年度～7年度）
 - ① デジタルを活用した展示手法の実施

2 調査研究事業

- (1) 「埼玉の地方文化とその特性ー地域文化圏に関する調査研究ー」を館職員の調査研究共通テーマとし、その成果を『紀要』に掲載
- (2) 『紀要』第20号の編集、刊行
- (3) 文化遺産調査活用事業 無形民俗文化財調査研究事業 「巡り・廻りの民俗行事」（第Ⅱ期）の実施
- (4) 次年度開催特別展・企画展に関する調査研究
- (5) 県立博物館8館合同ミュージアムフォーラム学芸員合同研究発表会への参加

3 資料調査事業

- (1) 資料の収集
埼玉県歴史・文化・伝統を象徴するコレクションの形成・充実に重点を置いた購入等を図り、さらに無形民俗文化財の映像等による記録保存にも努める。
- (2) 資料の整理・保存・管理
収集した資料を整理し、保存管理に万全を期するため、毎月資料総点検を実施するほか、劣化の進んだ資料については修理を実施する。
さらに総合的有害生物管理（Integrated Pest Management 略してIPM）を実施して、虫菌害予防のための資料保存・管理及び対策を図る。
「絹本着色阿弥陀三尊来迎図」、小倉青於「紙本淡彩出山釈迦図」、「刀 銘（菊紋）和泉守来金道」、「脇指 銘 武州住法城寺橋国吉」、「刀 銘（菊紋）近江守源久道」の修理を行う。
- (3) 館施設の防虫消毒
第1期 6月2日（月）～6月9日（月） 休館期間 左の期間と同様
第2期 9月8日（月）～9月9日（火） 休館期間 左の期間と同様

(4) 減圧滅菌装置による初発燻蒸

新規受入資料及び外部借用資料等の減圧滅菌装置及び殺虫バッグによる燻蒸殺虫を適宜行い、有害生物の防除に万全を期する。また、現在使用している燻蒸用のガスが販売終了することから、二酸化炭素の使用ができるよう減圧滅菌装置の改修を実施する。

(5) 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等にある当館所蔵の民俗資料を適切に管理する。

4 常設展示事業

メインテーマ：「埼玉における人々のくらしと文化」

(1) 展示替え

① 考古特集展示（第1室）

「埼玉の縄文集落」 令和6年7月 9日（火）～令和7年7月13日（日）

「縄文人と豊かな植物資源」 令和7年7月15日（火）～令和8年7月12日（日）

② 美術展示（第4室）

「ほとけを飾る」 3月11日（火）～ 5月11日（日）

「浮世絵できるかな」 5月13日（火）～ 6月 1日（日）

「亀のまにまに」 6月10日（火）～ 9月21日（日）

「人をうつす」 9月23日（火・祝）～12月14日（日）

「武士の美術」 12月16日（火）～ 令和8年3月 8日（日）

「仏教の美術」 令和8年3月10日（火）～5月10日（日）

③ 歴史特集展示

第9室「埼玉の自然と人々の営み」 3月11日（火）～ 6月 1日（日）

第9室「タイムスリップ1925」 6月10日（火）～ 11月16日（日）

第9室「選挙と議会」 11月18日（火）～ 令和8年3月 8日（日）

第3室「国宝太刀・短刀の公開」 令和8年1月27日（火）～ 3月 1日（日）

第9室「埼玉の宝物調査」 令和8年3月10日（火）～ 5月31日（日）

④ 民俗コラム展示（第10室）

「印半纏」 3月18日（火）～ 6月 1日（日）

「藍の型染め」 6月10日（火）～ 10月26日（日）

「馬と祈り」 10月28日（火）～ 令和8年3月15日（日）

「藁を編む」 令和8年3月17日（火）～ 5月31日（日）

⑤ 季節展示（季節展示室）

特別展・企画展の関連展示や館有資料を紹介する展示などを実施する。

収蔵品展「太平記をよむ」 令和8年1月 2日（金）～ 2月23日（月・祝）

⑥ 定例展示替え

毎月第4月曜日を目安に展示替えを実施。

(2) 国宝・重要文化財の公開

国宝 法華経一品経（ときがわ町・慈光寺） 3月11日（火）～ 5月11日（日）第4展示室
令和8年3月10日（火）～ 5月10日（日）第4展示室

国宝 太刀 令和8年1月27日（火）～ 3月 1日（日）第3展示室

国宝 短刀 令和8年1月27日（火）～ 3月 1日（日）第3展示室

重文 大般若経（日高市・高麗神社） 3月 4日（火）～ 5月11日（日）第3展示室

- 重文 銅造阿弥陀如来立像(神川町・光明寺)
10月21日(火)～12月14日(日)第4展示室
- 重文 絹本着色高野明神像・丹生明神像(越生町法恩寺)
4月15日(火)～5月11日(日)第4展示室
- 重文 絹本着色釈迦三尊及阿難迦葉像(越生町・法恩寺)
4月15日(火)～5月11日(日)第4展示室
- 重文 雲版(飯能市・長光寺) 10月21日(火)～12月14日(日)第3展示室
- 重文 三十六歌仙額(川越市・仙波東照宮)
9月23日(火・祝)～12月14日(日)第4展示室
- 重文 宋版一切経(川越市・喜多院) 10月21日(火)～12月14日(日)第7展示室
- 重文 紙本着色伝貞巖和尚像(久喜市・甘棠院)
9月23日(火・祝)～10月19日(日)第4展示室
- 重文 阿弥陀聖衆来迎図(熊谷市・常光院) 3月11日(火)～4月13日(日)第4展示室
- 重文 刀 無銘 伝助真(さいたま市・龍門寺)
10月11日(土)～11月24日(月・振休)特別展示室

(3) 重要有形民俗文化財の展示

- 重民 北武蔵の農具 4月1日(火)～令和8年3月31日(火)第10展示室

5 特別展・企画展等

(1) 特別展

名称・開催期間	展示内容
特別展 「はたらく装いのフォークロア」 令和7年3月15日(土) ～5月6日(火・振休)	<p>四方を海に囲まれ、豊かな山林や肥沃な大地に抱かれた日本では、人びとはさまざまな環境で農耕、狩猟、漁撈などに励んできた。その際に身につけた衣服や用具からは、はたらくための実用的な工夫やさりげない美意識をうかがうことができる。</p> <p>仕事着はそれ自体がコレクションとして、または生産用具のコレクションに含まれる形で収集が行われてきた。本展では国の重要有形民俗文化財「北武蔵の農具」、「秩父の山村生産用具」、「房総半島の漁撈用具」、「大森及び周辺地域の海苔生産用具」を中心に関連資料を紹介する。</p> <p>開催日数：47日 展示資料：199点</p> <p>[関連事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会 4月26日(土) ・展示解説 3月16日(日)、29日(土)、4月5日(土)、5月6日(火・振休) ・歴史民俗講座 4月12日(土) ・体験講座 3月22日(土) ・民俗工芸実演 4月29日(火・祝)

名称・開催期間	展 示 内 容
<p>特別展</p> <p>「大名と菩提所」</p> <p>令和7年10月11日(土) ～11月24日(月・振休)</p>	<p>江戸時代の埼玉県域には忍・岩槻・川越に城郭が存在し、いずれも江戸近郊の要所の守りを固めるため、城主には幕府の要職に就いた譜代大名らが任ぜられた。これら大名の菩提所や墓の在り方は「家」ごとに異なる様相を呈した。本展では260余年の泰平の世を支えた大名が眠る菩提所に注目し、埼玉県域ゆかりの大名の菩提所を紹介する。</p> <p>開催日数：41日 展示資料：約120点</p> <p>[関連事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会 11月8日(土) ・展示解説 10月13日(月・祝)、26日(日)、11月1日(土)、24日(月・振休) ・歴史民俗講座 10月25日(土) ・落語会 11月16日(日)
<p>特別展</p> <p>「埼玉の宝物」 <small>たからもの</small></p> <p>令和8年3月14日(土) ～5月6日(水・振休)</p>	<p>県内には、国宝をはじめ、国・県で指定した850件を超える文化財が所在する(令和7年3月現在)。本展ではこれらの中から、近年新たに指定となった文化財を厳選して展示する。貴重な文化遺産の展示をとおして、埼玉の歴史や文化に対する関心と理解を深める機会とする。</p> <p>開催日数：48日 展示資料：約120点</p> <p>[関連事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会 ・歴史民俗講座 ・展示解説 ・文化財現地ツアー ・民俗工芸実演

(2) 企画展等

名称・開催期間	展示内容
大宮駅開業・大宮公園開園140年 企画展 「名所 大宮 —鉄道のみち・公園のみち—」 令和7年7月12日(土) ～8月31日(日)	令和7年(2025年)は、明治18年(1885年)に大宮駅及び大宮公園(氷川公園)が開業して140周年の節目に当たる。 江戸時代まで、武蔵一宮氷川神社の境内地と大宮宿を中心としていたこの地域は、駅と公園の誕生によってその後の歩みを大きく変化させた。その後、大宮はこれらを核に発展を続け、鉄道のみち、文化・スポーツの中心地として現在まで親しまれている。 本展では、明治時代以降の大宮駅・大宮公園を中心に、地域の歩みと魅力を紹介する。 開催日数：47日 展示資料：約120点 [関連事業] ・大宮工場見学 8月13日(水) ・写真募集企画 ・展示解説 7月20日(日)、27日(日)、 8月3日(日)、24日(日)
「収蔵品展 太平記をよむ」 令和8年1月2日(金) ～2月23日(月・祝)	当館では、県指定有形文化財『太平記絵巻』をはじめ、『太平記』に関わる資料を所蔵している。太平記の諸本を中心に、太平記の物語に関連する周辺資料を展示し、太平記の世界の一端を紹介する。 開催日数：開催日数：47日 展示資料：約40点 [関連事業] なし

(3) 令和8年度開催予定特別展・企画展の準備

6 生涯学習支援事業

(1) 講座・講習会等の開催

① 歴史民俗講座(5回)

期日：4月12日(土)、9月6日(土)、10月25日(土)、1月17日(土)、2月21日(土)
各日とも14:00～15:30

対象：一般

定員：各150名

② 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」(全4回)

期日：6月22日(日)、6月29日(日)、7月6日(日)、7月13日(日)

対象：一般

定員：40名

③ 民俗工芸実演

・こぎん刺し

期日：4月29日（火・祝）

対象：一般

・わらで作る正月飾り

期日：11月22日（土）

対象：一般

(2) 実習・研修等の受入れ

① 博物館学芸員実習

期間：6月18日（水）～20日（金）、24日（火）～26日（木）、及び7月から9月までの間に当館が指定する1日の全7日間

定員：45名以内

② 博物館見学実習

期間：4月～3月（随時受入れ）

③ 中学生職場体験

期間：4月～3月（随時受入れ）

④ 高校生インターンシップ

期間：4月～3月（随時受入れ）

⑤ 教員研修等の受入れ

期間：4月～3月（随時受入れ）

⑥ 博物館教育利用セミナー「教員のための博物館の日」

期間：8月3日（日）、4日（月）

対象：教職員

定員：20名

⑦ 見る、ふれる、考える！中高生のための博物館体験講座

期間：8月5日（火）

対象：中学・高校生

定員：20名

(3) 学校団体の受入れ

① 学校連携（来館対応）

期間：4月～3月（随時受入れ）

対象：小・中・高等学校、特別支援学校等

② 学校連携（出前授業）

期間：4月～3月（随時受入れ）

対象：小・中・高等学校、特別支援学校等

③ ICTを効果的に活用した学校連携（オンライン授業）

期間：4月～3月（随時受入れ）

対象：小・中・高等学校、特別支援学校等

(4) デリバリー事業等の実施

① 県政出前講座

② 講座・講演講師派遣

(5) ボランティアの受入れ

① 体験学習ボランティアの育成と運営

② 展示解説ボランティアの育成と運営

ボランティアによる常設展の展示解説を、開館期間中、原則毎日行う。

7 ゆめ・体験ひろば事業

(1) 「ものづくり工房」通常体験メニュー

期日：4月1日（火）～3月31日（火）

対象：児童・生徒・一般（未就学児は保護者同伴）

定員：メニューにより定員あり（事前予約「可」のメニュー有）

- ① 藍染めハンカチ 事前予約「可」
- ② 江戸組紐ストラップ・ブレスレット 事前予約「可」
- ③ 絵馬
- ④ 歴史ぬりえ
- ⑤ ミニ絵巻物
- ⑥ まが玉 事前予約「可」
- ⑦ 浮世絵スリスリマシン
- ⑧ 季節のミニアート
- ⑨ コバトンベーゴマ

(2)「ものづくり工房」特別体験メニュー

- ① 藍の絞り染めTシャツ作り
期日：5月29日（木）
対象：大人
定員：10名
- ② 藍の型染めミニトートバッグ作り
期日：7月3日（木）、4日（金）
対象：大人
定員：各日10名
- ③ 木版浮世絵を摺る
期日：5月28日（水）、12月19日（金）
対象：大人
定員：各日6名（各日2回実施・定員各回3名）
- ④ 夏休み子ども組紐教室（キーホルダー作成）
期日：7月19日（土）、23日（水）
対象：小学3年～中学生
定員：各日12名（各日2回実施・定員各回6名）
- ⑤ 江戸組紐体験 笹波組のネックストラップ作り
期日：7月18日（金）
対象：大人
定員：20名
- ⑥ ミニチュア古代鏡作り
期日：1月25日（日）
対象：小学生以上（小学1～4年生は保護者同伴）
定員：各回8組（2回実施）
- ⑦ 江戸組紐体験 浪路組の帯締め作り
期日：2月13日（金）、20日（金）（要2日間受講）
対象：大人
定員：20名
- ⑧ 型付け藍染め体験一てぬぐい作り一
期日：2月14日（土）
対象：大人
定員：12名

(3)「昭和の原っぱ」イベント

- ① 博物館こどもまつり
射的遊び
期日：5月5日（月・祝）
対象：児童・生徒・一般
- ② ベーゴマ教室

期日：10月18日（土）

対象：小学生以上

定員：30名

③ 博物館春まつり

ポン菓子づくりの実演

期日：3月7日（土）

対象：児童・生徒・一般

(4) その他特別体験事業

① 十二単・小桂と男子装束の着装体験

期日：6月14日（土）、10月25日（土）、1月31日（土）

対象：小桂は小学生以上、十二単・男子装束は高校生以上

定員：各日6名

② 十二単・小桂と男子装束の着装体験（ペア申込）

期日：7月12日（土）、12月13日（土）、3月14日（土）

対象：小桂は小学生以上、十二単・男子装束は高校生以上

定員：各日3組6名

③ お囃子体験教室

期日：7月26日（土） さんてこ囃子

3月7日（土） 江戸囃子

対象：児童・生徒・一般

定員：20名

④ 火おこし体験

期日：4月19日（土）、②12月6日（土）、③2月14日（土）

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

定員：当日先着順

⑤ 甲冑の着装体験

期日：6月28日（土）、1月18日（日）

対象：小学生以上

定員：各日12名

(5) 博物館クルーの育成・活用

「ゆめ・体験ひろば」等の体験メニューや博物館の事業の運営に協力するための高度な技術を持つ人々を育成し、活用する。

(6) キッズクルーの募集

将来の埼玉文化の継承者や良き博物館利用者の育成及びゆめ・体験ひろば等における子供対象事業への参加促進を図るため、「キッズクルー」の募集を行う。

対象：中学生以下の子供

8 その他の主催事業

(1) 県民の日イベント

唐破風 お囃子LIVE! 2025

期日：11月14日（金・県民の日）

(2) 正月臨時開館関連事業

① 「博物館でお正月」福笑い・かるた遊び

期日：1月2日（金）

② 「博物館でお正月」投扇興・かるた遊び

期日：1月3日（土）

③ 「博物館でお正月」羽根つき、絵馬パズル、独楽回し、すごろく

期日：1月2日（金）～3日（土）

(3) 博物館バックヤードツアー

普段見ることのできない博物館のバックヤードを学芸員が案内する。

原則毎月第二日曜日の午後実施 対象：一般 定員：なし

(4) 建築見学ツアー

博物館の建築を埼玉会館のボランティアガイドが案内する。

期日：6月14日(土)

対象：一般

定員：30名

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(埼玉会館)

9 関係団体・機関との連携等

(1) 埼玉県博物館連絡協議会の運営等(会長・事務局)

① 総会・役員会・研究会・見学会等の開催

② ホームページの管理・運営

(2) 関東地区博物館協会の運営(副会長・埼玉県代表幹事館)

(3) 全国歴史民俗系博物館協議会の運営(関東ブロック幹事館)

(4) 日本博物館協会の活動(参与)

(5) 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会との連携・交流

(6) 県政出前講座依頼の受け入れ、講座・講演講師派遣

(7) 埼玉県文化財保護協会等の県内文化財関係団体との共催による講習会・研修会の開催

(8) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会の運営(会長・事務局)

(9) 埼玉大学と連携し、県民向け連続講座「ミュージアムカレッジ」を開催

(10) 首都圏の美術館・博物館共通入館券「ぐるっとパス2025」への参加

(11) 埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加

(12) その他関係団体・民間企業との連携

10 広聴広報

(1) 広聴

講座・講演会・特別展等アンケートの実施

(2) 広報

① イベントガイド・ポスター・チラシほか

② 彩の国だより・県教委だよりほか

③ 新聞・雑誌・テレビ・ラジオほか

④ インターネット・SNSによる情報発信

⑤ 当館ホームページの管理・運営

⑥ イベントブース出展、自治会回覧等による地域広報

(3) レファレンスサービス

11 各種印刷物の刊行

(1) 『紀要』第20号

(2) 展示図録等

(3) その他

① 令和8年度イベントガイド

② 令和7年度要覧

③ 授業に役立つ博物館活用ガイド(令和8年度版)

④ 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事(第Ⅱ期) 総括報告書Ⅱ「玉敷神社のお獅子さま」

⑤ 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査総括映像 DVD「玉敷神社のお獅子さま」

12 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期する。

令和6年度 事業報告

1 調査研究事業

分野ごとの基礎的・分類的・形態学的調査研究、展示・教育・運営等博物館活動の諸分野に関する研究、資料の収集・保存に関する技術的研究など、博物館活動の基礎となる調査研究のほか、次の事業を行った。

- (1) 常設展示資料に関する調査研究
- (2) 『紀要』第19号の編集、刊行(400部)
- (3) 文化遺産調査活用事業 無形民俗文化財調査研究事業「巡り・廻りの民俗行事」(第II期)「玉敷神社のお獅子さま」の調査の実施、映像記録「玉敷神社のお獅子さま」の制作
- (4) 次年度開催特別展に関する調査研究
- (5) 県立博物館8館合同ミュージアムフォーラム学芸員合同研究発表会への参加

2 資料の収集・保存・管理事業

常設展示や特別展示等の充実及び人文系総合博物館にふさわしい魅力あるコレクションを形成するため、資料収集基準及び資料評価会議の指導に基づき資料を収集した。

また、資料の虫菌害対策や、保存環境の整備のため、定期清掃等の総合的有害生物管理(IPM)を実施した。

(1) 資料の収集

新規受入れ資料として15件20点を収集した。

① 購入(13件18点)

- | | |
|------------------|----|
| ・川越案内 | 1点 |
| ・紙本着色 蓬萊図 | 1点 |
| ・鯨絵(二日の夜今度の恨) | 1点 |
| ・鯨絵(鯨への見舞い) | 1点 |
| ・ポスター(イワタ農工用発動機) | 1点 |
| ・紙本墨画 竹石図 | 1点 |
| ・足軽胴 朱漆塗二枚桶側胴 | 1点 |
| ・足軽胴 黒漆塗前懸胴 | 1点 |
| ・太平記戦争之内 村上義照勇猛図 | 1点 |
| ・絹本着色 大根にねずみ図 | 1点 |
| ・武蔵国岩槻城内修復之絵図 控 | 1点 |
| ・絵葉書 大宮新名所牡丹の衆楽園 | 6点 |
| ・鉄道旅行案内 | 1点 |

② 受贈(2件2点)

- | | |
|----------------|----|
| ・オーディナリ型自転車 | 1点 |
| ・川村碩布筆 紙本墨画 梅図 | 1点 |

③ 保管転換(なし)

(2) 資料の整理・保存・管理

① 資料管理

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| ・IPM推進委員会の開催 | 4月12日(金)、1月16日(木) |
| ・収蔵庫定期清掃 | 月2回(原則第2・4木曜日) |
| ・有害生物生息状況調査(館内、嵐山史跡の博物館、文化財収蔵施設) | 月1回(原則月末火曜日) |
| ・収蔵庫ほか忌避剤散布 | 6月4日(火)～5日(水)
9月9日(月)～10日(火) |

- ・搬入展示資料等の燻蒸

9月12日(木)～13日(金)
11月5日(火)～6日(水)
11月5日(火)～19日(火)
令和7年2月12日(水)～13日(木)
- ② 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等に所在する当館所蔵の民俗資料の管理
 - ・収蔵庫定期清掃 6回
 - ・有害生物生息状況調査 月1回(原則月末水曜日)
- ③ 資料の修理

・池玉瀾筆「菊蝶図」(紙本)	1幅
・立原杏所筆「花鳥図」(絹本)	1幅
・「刀 銘(葵紋)康継於越前作之」	1振
・「脇指 銘(葵紋)康継於越前作之」	1振
- (3) 資料の貸出、特別利用(フィルム等の貸出、資料の熟覧等)

① 貸出	東京富士美術館、新潟県立歴史博物館ほか	14件 (64点)
② 特別利用	NHKエンタープライズ、吉川弘文館ほか	119件 (541点)

3 常設展示事業

「埼玉における人々の暮らしと文化」をメインテーマに、総合的な視野で時代の推移が理解できる展示に努めた。また、調査や研究に基づく展示替えや特別公開などにより、展示内容の充実を図った。

(1) 展示替え

① 美術展示(第4室)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 「麗しき祈り」 | 3月19日(火)～5月12日(日) |
| 「見立てて楽しむ源氏絵」 | 5月14日(火)～6月2日(日) |
| 「わざのカタチ」 | 6月11日(火)～9月29日(日) |
| 「歌仙のおでまし」 | 10月1日(火)～12月15日(日) |
| 「山水に遊ぶ」 | 12月17日(火)～令和7年3月9日(日) |
| 「ほとけを飾る」 | 令和7年3月11日(火)～5月11日(日) |

② 歴史特集展示

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 第9室「埼玉遊覧」 | 3月19日(火)～6月2日(日) |
| 第9室「すごいぞ! 渋沢栄一」 | 6月11日(火)～8月25日(日) |
| 第9室「東京オリンピック1964」 | 8月27日(火)～11月24日(日) |
| 第7室「江戸時代の狩り」 | 10月1日(火)～12月22日(日) |
| 第9室「館蔵引札コレクション」 | 11月26日(火)～令和7年3月9日(日) |
| 第3室「国宝太刀・短刀の公開」 | 令和7年1月28日(火)～3月2日(日) |
| 第9室「埼玉の自然と人々の営み」 | 令和7年3月11日(火)～6月1日(日) |

③ 民俗コラム展示(第10室)

- | | |
|------------|------------------------|
| 「お茶づくり」 | 3月19日(火)～6月2日(日) |
| 「水引細工」 | 6月11日(火)～8月25日(日) |
| 「花火づくり」 | 8月27日(火)～12月15日(日) |
| 「ちっちゃな縁起物」 | 12月17日(火)～令和7年3月16日(日) |
| 「印半纏」 | 令和7年3月18日(火)～6月1日(日) |

④ 季節展示(季節展示室)

特別展・企画展の関連展示や時宜に合ったテーマの小展示などを実施する。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 季節展「桐箱・桐筆筥」 | 9月11日(水)～9月29日(日) |
|-------------|-------------------|

⑤ 定例展示替え

毎月第3月曜日を目安に展示替えを実施。

(2) 国宝・重要文化財の公開

- 国宝 法華経一品経(ときがわ町・慈光寺) 3月19日(火)～5月12日(日)第4展示室
令和7年3月11日(火)～5月11日(日)第4展示室
- 国宝 太刀 令和7年1月28日(火)～3月2日(日)第3展示室
- 国宝 短刀 令和7年1月28日(火)～3月2日(日)第3展示室
- 重文 大般若経(日高市・高麗神社) 3月5日(火)～5月12日(日)第3展示室
令和7年3月4日(火)～5月11日(日)第3展示室
- 重文 銅造阿弥陀如来立像(神川町・光明寺) 3月19日(火)～5月12日(日)第4展示室
- 重文 絹本著色高野明神像・丹生明神像(越生町法恩寺)
3月19日(火)～4月14日(日)第4展示室
- 重文 絹本著色釈迦三尊及阿難迦葉像(越生町・法恩寺)
3月19日(火)～4月14日(日)第4展示室
- 重文 雲版(飯能市・長光寺) 6月11日(火)～9月29日(日)第3展示室
- 重文 三十六歌仙額(川越市・仙波東照宮)
10月1日(火)～12月15日(日)第4展示室
- 重文 宋版一切経(川越市・喜多院) 10月29日(火)～令和7年2月16日(日)第7展示室
- 重文 紙本著色伝貞巖和尚像(久喜市・甘棠院)
10月22日(火)～令和7年1月26日(日)第5展示室
- 重文 阿弥陀聖衆来迎図(熊谷市・常光院)
令和7年3月11日(火)～4月13日(日)第4展示室
- 重文 熊野神社境内古墳出土品(桶川市・熊野神社)
4月2日(火)～6月2日(日)第2展示室

(3) 重要有形民俗文化財の展示

- 重民 北武蔵の農具 4月2日(火)～令和7年3月30日(日)第10展示室

4 特別展・企画展等

当館の主催又は関係団体との共催により、特定のテーマに基づいて資料を収集・構成し、特色ある特別展・出張展示を開催した。

(1) 特別展「鉢形城主 北条氏邦」

期 日 令和6年3月16日(土)～5月6日(月・振休)

趣 旨 寄居町に所在する国指定史跡・鉢形城跡は、戦国時代に小田原北条氏が北武蔵支配の重要拠点とした名城である。現在の寄居町、秩父市、小鹿野町などの周辺地域には、鉢形城主北条氏邦やその家臣団ゆかりの文化財が多く残されている。本展では、氏邦と家臣団が奉納したものとしてよく知られる法養寺薬師堂(小鹿野町両神薄)の木造十二神将立像などを一堂に展示するとともに、近年における調査研究等の新たな成果を踏まえつつ、鉢形城主北条氏邦をめぐる歴史像を紹介した。

展示資料総数 147点

開館日数 47日(令和5年度 15日)

会期中観覧者 7,842名(令和5年度 1,732名)

[関連事業]

・記念講演会 「北条氏邦研究の最前線」

期 日 4月14日(日)

講師 浅倉 直美 氏 (駒澤大学文学部歴史学科准教授)

参加者 139名

- ・歴史民俗講座「北条氏邦の魅力に迫る—展覧会をもっと楽しむために—」

期日 4月27日(土)

講師 黒田 千尋 (当館学芸員)

参加者 123名

- ・展示解説

期日・参加者 3月20日(水・祝) 参加者 44名

4月6日(土) 参加者 61名

4月21日(日) 参加者 72名

5月5日(日・祝) 参加者 123名

- ・鱗柄の組紐ストラップづくり

期日 ①3月23日(土) ②3月27日(水)

講師 当館職員および体験学習ボランティア

参加者 ①午前：8名 午後：8名 ②午前：8名 午後：8名

[共催事業]

- ・特別展イベント「探訪！国史跡鉢形城跡」

概要 特別展で紹介する北条氏邦の居城鉢形城跡を訪ねる現地見学会。遺構や最新の発掘調査について解説し、関東屈指の名城の面影に触れる。

共催 寄居町教育委員会

会場 鉢形城歴史館(集合場所)

講師 鉢形城歴史館 主事 石塚 三夫 氏

期日 3月10日(日)

参加者 34名

- (2) 企画展「お金を出して！—お金のふしぎ探検隊—」

期日 令和6年7月13日(土)～9月1日(日)

趣旨 令和6年(2024年)、紙幣が刷新され埼玉ゆかりの三偉人の一人、渋沢栄一が新一万円札の顔になった。渋沢は日本のお金のあり方にも大きな役割を果たしたことが知られている。埼玉県に関わりある新紙幣誕生を記念し、改めてお金の歴史と現在、そして美しさ、面白さを子供たちに(そして大人たちにも)向けてわかりやすくひもとく内容とした。

展示資料総数 449点

開館日数 47日

会期中観覧者 5,386名

[関連事業]

- ・親子向けイベント「マス目写し講座」

期日 8月24日(土)

講師 国立印刷局職員(工芸官)

費用 無料

会場 当館 講堂

参加者 午前の部 5組9名 午後の部 9組25名

- ・子供向けイベント「出張授業 特別版 お金のふしぎ大発見！」

講師 国立印刷局職員

期日 8月25日(日)

費用 無料

会場 当館 講座室

参加者 第1回 16名、第2回 22名、第3回 16名、合計 54名

- ・体験イベント「ピカピカ！キラキラ！むかしの“お金”をつくってみよう」

日時 8月4日(日)

費用 500円

会場 当館 ものづくり工房

参加者 55名（午前と午後の回合計）

- ・エピソード募集「貯まれ！みんなのお金ストーリー」

期間 7月13日（土）～9月1日（日）

総エピソード数 468件

- ・歴史民俗講座 「新一万円札の顔 渋沢栄一」

講師 木村 遼之（当館学芸員）

日時 7月20日（土） 14時00分～15時00分

会場 当館 講堂

参加者 104名

- ・展示解説

期日・参加者 7月27日（土） 参加者 14名

8月10日（土） 参加者 25名

8月17日（土） 参加者 30名

(3) 特別展「鷹のおでまし—鷹狩の美術—」

期日 10月12日（土）～11月24日（日）

趣旨 鷹狩は、訓練した猛禽類を野に放って獲物を捕らえる狩猟法である。古来、天皇や貴族、武家に好まれ、江戸時代には武蔵国でも鷹狩が行われた。鷹は美術において権威の象徴として表され、鷹が獲物を捕らえる勇猛な姿が数多く描かれた。本展では、鷹や鷹狩を主題とする美術作品における鷹の存在に注目し、そのイメージや文化、鷹狩について視覚的に紹介した。

展示資料総数 124点

開館日数 40日

会期中観覧者 5,675名

[関連事業]

- ・記念講演会「鷹の美術—空を翔ける芸術の魅力—」

期日 11月9日（土）

講師 水野 裕史 氏（筑波大学芸術系准教授）

参加者 89名

- ・放鷹実演「鷹匠のおでまし」

期日 10月27日（日）

講師 岩槻鷹匠会

参加者 316名（鷹匠体験20名）

- ・ギャラリートーク「鳥博士のおでまし」

期日 11月17日（日）

講師 本多 里奈 氏（県立自然の博物館学芸員）

参加者 第1回 45名、第2回 32名

- ・歴史民俗講座「鷹狩絵巻について」

期日 10月19日（土）

講師 井上 海（当館学芸員）

参加者 62名

- ・展示解説

期日・参加者 10月14日（月・祝） 参加者 20名

11月2日（土） 参加者 21名

11月14日（木・県民の日） 参加者 34名

11月23日（土・祝） 参加者 44名

(4) 「新収集品展2022・2023」

期日 12月24日（火）～2月24日（月・振休）

趣 旨 令和4年度及び5年度の寄贈や購入により新たに収集した博物館資料のうち、代表的なものを紹介

展示資料総数 77点

開館日数 53日

(5) 特別展「はたらく装いのフォークロア」

期 日 令和7年3月15日(土)～5月6日(火・振休)

趣 旨 四方を海に囲まれ、豊かな山林や肥沃な大地に抱かれた日本では、人びとはさまざまな環境で農耕、狩猟、漁撈などに励んできた。その際に身に着けた衣服や用具から、はたらくための実用的な工夫やさりげない美意識をうかがうことができる。仕事着はそれ自体がコレクションとして、または生産用具のコレクションに含まれる形で収集が行われてきた。本展では国の重要有形民俗文化財「北武蔵の農具」、「秩父の山村生産用具」、「房総半島の漁撈用具」、「大森及び周辺地域の海苔生産用具」を中心に関連資料を紹介した。

展示資料総数 199点

開館日数 47日(令和6年度 15日)

会期中観覧者 3,692名(令和6年度 1,022名)

[関連事業]

- ・体験講座「綿から糸をつくってみよう」

期 日 令和7年3月22日(土)

講 師 平山 由喜 氏

参加者 16名

- ・記念講演会「モノとしての衣、コトとしての衣―「房総半島の漁撈用具」を例として―」

期 日 令和7年4月26日(土)

講 師 小島 孝夫 氏(成城大学文芸学部教授・民俗学研究所所長)

参加者 75名

- ・展示解説

期日・参加者 令和7年3月16日(日) 参加者 13名

令和7年3月29日(土) 参加者 19名

令和7年4月5日(土) 参加者 15名

令和7年5月6日(火・振休) 参加者 49名

- ・歴史民俗講座「はたらく 装いのモノがたり」

期 日 令和7年4月12日(土)

講 師 佐藤 夏美(当館学芸員)

参加者 49名

5 生涯学習支援事業

(1) 講座・講習会等の開催

①歴史民俗講座

- ・「北条氏邦の魅力に迫る―展覧会をもっと楽しむために―」

期 日 4月27日(土)

講 師 黒田 千尋(当館学芸員)

参加者 123名

- ・「新一万円札の顔 洪沢栄一」

期 日 7月20日(土)

講 師 木村 遼之(当館学芸員)

参加者 104名

- ・「鷹狩絵巻について」

期 日 10月19日(土)
講 師 井上 海(当館学芸員)
参加者 62名

・「埼玉の中世石塔」

期 日 12月14日(土)
講 師 栗岡 眞理子(当館館長)
参加者 115名

・「くらしの火について考える」

期 日 2月15日(土)(予定)
講 師 佐藤 夏美(当館学芸員)
参加者 46名

② 民俗芸能講習会「江戸里神楽 おかめ・ひよつこの舞」

期 日 6月16日(日)、23日(日)、30日(日)、7月7日(日)全4回
受講者 27名(延べ77名)

③ 民俗工芸実演

・水引細工

期 日 8月3日(土)
講 師 園部 洋子 氏
参加者 39名

・春日部桐箆筒

期 日 9月21日(土)
講 師 横溝 和夫 氏
参加者 46名

④ 第14回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム

期 日 1月18日(土)
講 師 西川 眞理子(当館学芸員)「仏画と説話－智光曼荼羅について－」
田口 志織(当館学芸員)「温泉に向かう人々－埼玉県内温泉関係資料からわ
かったこと－」
参加者 61名

(2) 実習・研修等の受入れ

① 博物館学芸員実習

跡見学園女子大学など22大学 30名

② 博物館見学実習

成城大学など7大学 110名

③ 中学生職場体験

さいたま市立大宮北中学校など8校78名(延べ) 延べ21日間

④ 高校生インターンシップ

受入れなし

⑤ 大学生インターンシップ

受入れなし

⑥ 教員向け研修の受入れ(教育利用セミナー等)

・高等学校初任者研修(教科別・地歴公民)※ 県立総合教育センターとの共催
6月12日(水) 参加者33名

・高等学校5年経験者研修 ※ 県立総合教育センターの主催

6月12日(水)、7月25日(木)、7月26日(金)、8月2日(金)、10月14日(月)
参加者4名

・博物館の教育利用セミナー

8月2日(金) 参加者3名

⑦ その他研修の受入れ

なし

(3) 学校団体の受入れ

- ① 学校連携（来館対応）
小学校65校（特別支援学級3を含む）、中学校8校（特別支援学級8）、高等学校3校
特別支援学校2校、保育園2園、その他学校関係2団体（教育センター1、フリースクール1）
計82校
- ② 学校連携（出前授業）
鴻巣市立箕田小学校など53件（教育センター4を含む） 参加者3,139名
- ③ オンライン授業
埼玉大学教育学部附属中学校など18件 参加者894名
- ④ 「主体的・対話的で深い学び」の博物館利用の検討

(4) デリバリー事業等

- ① 県政出前講座
公民館主催事業（熊谷市中央公民館）など 4件 参加者139名
- ② 講座・講演講師派遣
県立熊谷図書館、東松山きらめき市民大学など 10件 参加者283名

(5) ボランティアの受入れ

- ① ボランティア活動、養成講座
 - ア ボランティア活動
 - ・体験学習ボランティア 85名登録
学校団体、まが玉・藍染めハンカチ・組紐ストラップづくりなどの体験学習指導補助
延べ活動日数 313日 延べ活動人数 1,688名
 - ・展示解説ボランティア 56名登録
常設展の展示解説を開館期間中実施した。
延べ活動日数 261日 延べ活動人数 921名
 - イ ボランティア研修
ボランティア養成のための専門的講座及び実践的な研修を実施した。
体験学習ボランティア 延べ開催日数 16日 延べ参加人数 163名
展示解説ボランティア 延べ開催日数 14日 延べ参加人数 223名

6 ゆめ・体験ひろばの運営

それぞれ特色のある機能と設備を持つ4つのエリアで、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様な体験プログラムを、子どもから高齢者、初心者からリピーターまでさまざまな参加者を対象に実施している。

(1) 「ものづくり工房」通常体験メニュー

- ① 藍染めハンカチ 2,643名
 - ② 江戸組紐ストラップ等 901名
 - ③ 絵馬 63名
 - ④ 歴史ぬりえ 36名
 - ⑤ ミニ絵巻物 488名
 - ⑥ まが玉 2,426名
 - ⑦ 浮世絵スリスリマシン 562名
 - ⑧ 季節のミニアート 711名
 - ⑨ コバトンベーゴマ 45名 ※ 販売のみ
- 合計 7,875名

(2) 「ものづくり工房」特別体験メニュー

- ① 木版浮世絵を摺る
期 日 7月4日（木） 参加者 6名

- | | | | | |
|-----|----------------------------|-----------------|-----|------|
| | 期 日 | 12月19日(木) | 参加者 | 6名 |
| ② | 藍の型染めミニトートバッグ作り | | | |
| | 期 日 | 6月27日(木) | 参加者 | 10名 |
| | 期 日 | 6月28日(金) | 参加者 | 10名 |
| ③ | ミニ銅鏡作り | | | |
| | 期 日 | 1月26日(日) | 参加者 | 45名 |
| ④ | 藍の絞り染めエプロン作り | | | |
| | 期 日 | 5月23日(木) | 参加者 | 8名 |
| ⑤ | 夏休み子ども組紐教室 | | | |
| | 期 日 | 7月25日(木) | 参加者 | 8名 |
| | 期 日 | 7月26日(金) | 参加者 | 8名 |
| ⑥ | ピカピカ!キラキラ!むかしの“お金”をつくってみよう | | | |
| | 期 日 | 8月4日(日) | 参加者 | 55名 |
| ⑦ | 石踏組のブレスレットとネックレス作り | | | |
| | 期 日 | 10月18日(金) | 参加者 | 20名 |
| ⑧ | 御岳組の帯締め作り(要2日間受講) | | | |
| | 期 日 | 2月21日(金)、28日(金) | 参加者 | 20名 |
| ⑨ | 型付け藍染め体験 | | | |
| | 期 日 | 2月22日(土) | 参加者 | 14名 |
| (3) | 「昭和の原っぱ」イベント等 | | | |
| ① | 博物館こどもまつり | | | |
| | 期 日 | 5月5日(日・祝) | 参加者 | 160名 |
| ② | ベーゴマ教室 | | | |
| | 期 日 | 10月19日(土) | 参加者 | 40名 |
| ③ | 博物館春まつり | | | |
| | 期 日 | 3月22日(土) | 参加者 | 320名 |
| (4) | その他の特別体験事業 | | | |
| ① | 十二単・小桂と男子装束の着装体験 | | | |
| | 期 日 | 4月27日(土) | 参加者 | 5名 |
| | 期 日 | 7月27日(土) | 参加者 | 5名 |
| | 期 日 | 12月7日(土) | 参加者 | 6名 |
| ② | 十二単・小桂と男子装束の着装体験(ペア申込み) | | | |
| | 期 日 | 6月15日(土) | 参加者 | 6名 |
| | 期 日 | 10月12日(土) | 参加者 | 6名 |
| | 期 日 | 3月1日(土) | 参加者 | 6名 |
| ③ | チームでチャレンジ!火おこし体験教室 | | | |
| | 期 日 | 10月5日(土) | 参加者 | 20名 |
| | 期 日 | 11月9日(土) | 参加者 | 17名 |
| | 期 日 | 12月14日(土) | 参加者 | 22名 |
| ④ | お囃子体験教室「さんてこ囃子」 | | | |
| | 期 日 | 6月22日(土) | 参加者 | 15名 |
| | 期 日 | 10月26日(土) | 参加者 | 22名 |
| ⑤ | 甲冑の着装体験 | | | |
| | 期 日 | 11月30日(土) | 参加者 | 12名 |
| | 期 日 | 2月15日(土) | 参加者 | 10名 |
| ⑥ | 綿から糸をつくってみよう | | | |
| | 期 日 | 3月22日(土) | 参加者 | 16名 |

7 その他の主催事業

- (1) 県民の日イベント「唐破風お囃子 LIVE!2024」
期 日 11月14日(木) 参加者288名
- (2) 正月臨時開館関連事業「博物館でお正月」
 - ①「正月遊び」福笑い、かるた遊び
期 日 1月2日(木) 参加者99名
 - ②「正月遊び」投扇興、かるた遊び
期 日 1月3日(金) 参加者96名
 - ③「正月遊び」羽根つき、絵馬パズル、独楽回し、すごろく
期 日 1月2日(木)～1月3日(金)
 - ④県立大宮光陵高校書道科の生徒による揮毫の展示
期 日 1月2日(木)～1月8日(水)
 - ⑤「展示室で福探し」常設展示室内で縁起の良い画像データを配布
期 日 1月2日(木)～1月8日(水)
 - ⑥「お正月フォトスポット」の設置
期 日 1月2日(木)～1月8日(水)
- (3) 博物館裏方探検隊
原則、毎週土曜日に博物館のバックヤードを紹介 51回 参加者 457名

8 関係団体・機関との連携等

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会(会長)・運営等(事務局)
 - ① 総会・役員会・見学会・研究会等の開催
 - ② 「埼玉県博物館連絡協議会 加盟館園マップ」の作成(15,000部)
 - ③ ホームページの管理・運営
- (2) 関東地区博物館協会の運営等(埼玉県代表幹事館)
 - ① 総会、理事会、研究会出席
 - ② 総会等の会場提供、第1回研究会の開催
 - ③ 埼玉県内加盟館との連絡・調整
- (3) 全国歴史民俗系博物館協議会の運営(関東ブロック幹事館)
総会への参加
- (4) 日本博物館協会(参与)
全国博物館大会等への参加
- (5) 「博物館友の会」との連携
 - ① プレミアム講座への講師派遣
 - ・「竹籠づくり その意外な近現代の姿」
期 日 8月7日(水)
講 師 服部 武(当館主任学芸員)
参加者 26名
 - ・「鷹狩の美術」
期 日 11月13日(水)
講 師 井上 海(当館学芸員)
参加者 26名
 - ・「埼玉県の近世遺跡 ～栗橋宿跡を中心に～」
期 日 1月19日(日)
講 師 中島 萌(当館学芸員)
参加者 52名
 - ② 当館開催事業への友の会スタッフ派遣
 - ・特別展関連事業の放鷹実演、県民の日・正月開館の各イベント

- (6) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会による連携事業の実施
- ・第1回ウォーキングツアーの実施
期 日 12月15日(日)
参加者 18名
 - ・合同連携イベント「宇宙兄弟秋祭りとペットボトルロケット大会」
期 日 10月12日(土)、13日(日)
 - ・「大宮第二公園防災秋まつり(第2回大宮公園防災車中泊&キャンプ Fes. /次世代につなぐ大宮公園検討グループ主催)」でのブース出展、チラシの配布等のPR活動
期 日 11月9日(土)、10日(日)
 - ・スタンプラリーの実施
期 日 11月16日(土)～2月2日(日)
 - ・第2回ウォーキングツアーの実施
期 日 3月16日(日)雨天中止
 - ・「ミュージアムヴィレッジ大宮公園ガイドマップ」の作成・配布(10,000部)
- (7) 連携事業等
- ・埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加
 - ・首都圏の美術館・博物館共通入館券「ぐるっとパス2024」への参加
- (8) その他事業の共催
- ① 文化財講習会
共催団体 埼玉県文化財保護協会
期 日 7月31日(水)、8月1日(木)
参加者 171名
 - ② 文化財レスキュー・防災研修会
共催団体 埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
期 日 2月7日(金)
参加者 20名

9 広聴広報

- (1) 広聴
- ① 特別展・企画展等のアンケートの実施
 - ② 博物館利用者アンケートの実施
利用者アンケートの結果をフィードバック
- (2) 広報
- ① 当館刊行物、県刊行物による広報のほか、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等による広報を積極的に行うとともに、インターネット・SNSによる情報発信を行った。
 - ② 「大盆栽まつり」、「大宮区民ふれあいフェア」、「西区ふれあいまつり」、「大宮第二公園防災秋まつり」にブース出展し、パンフレットの配布などの広報活動を行った。
 - ・大盆栽まつり 5月3日(金)～5日(日)
 - ・大宮区民ふれあいフェア 10月26日(土)
 - ・西区ふれあいまつり 11月9日(土)
 - ・大宮第二公園防災秋まつり(第2回大宮公園防災車中泊&キャンプ Fes. /次世代につなぐ大宮公園検討グループ主催) 11月9日(土)、10日(日)
- (3) レファレンスサービス(156件)
- 博物館の利用に関する相談、埼玉の歴史・考古・民俗・美術に関する学習相談、情報提供、特別展・企画展・常設展の内容等照会、体験学習の指導・助言等の実施。

10 令和6年度印刷刊行物等一覧

※ [] 内は販売価格。記載のないものは無料配布

(1) 紀要第19号 [900円]	400部
(2) 展示図録等	
特別展「鷹のおでまし—鷹狩の美術—」図録 [1, 100円]	1, 800部
特別展「はたらく装いのフォークロア」図録 [1, 300円]	1, 600部
企画展「お金を出して!—お金のふしぎ探検隊—」ブックレット [600円]	1, 400部
常設展示解説リーフレット (10種類)	58, 500部
「新収集品展2022・2023」リーフレット	1, 000部
特別展「鷹のおでまし—鷹狩の美術—」一筆箋 [300円]	500個
特集展示「国宝太刀・短刀の公開」太刀亚克力キーホルダー [700円]	200個
特集展示「国宝太刀・短刀の公開」短刀亚克力キーホルダー [700円]	250個
特別展「はたらく装いのフォークロア」手ぬぐい [1, 300円]	100個
(3) 令和7年度イベントガイド	25, 000部
(4) 見学のしおり	8, 000部
(5) 令和6年度博物館要覧	95部
(6) 授業に役立つ博物館活用ガイド (令和7年度版)	7, 000部
(7) 巡り・廻りの民俗行事 (第II期) 調査概報VII [800円]	300部
(8) 広報用ノベルティ	
てんぐまい三人衆ハンカチ	200枚
コバトン缶バッジ	300個

1.1 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期した。

- (1) 防災訓練 (消防、地震)

	9月18日 (水)
	3月 7日 (金)
- (2) 自家用電気工作物電気保安検査 11月11日 (月)
- (3) 施設設備の保守業務委託、小破修繕の実施

令和6年度 利用者数

	開館 日数	利用者 合計 (A+B)	入館者数(A)						館外 活動 (B)
			合計 (C+D)	展示室観覧者(C)			入場者数 (D)		
				合計 (E+F)	有料(E)			無料(F)	
					小計	観覧料			
日	人	人	人	人	円	人	人	人	
4月	26	10,928	10,928	4,542	3,354	1,697,100	1,188	6,386	-
5月	28	8,885	8,418	3,345	2,571	1,133,150	774	5,073	467
6月	20	6,046	5,573	1,451	929	251,900	522	4,122	473
7月	27	6,694	6,282	2,568	1,535	497,000	1,033	3,714	412
8月	29	8,729	8,436	3,841	2,237	775,500	1,604	4,595	293
9月	26	7,480	7,215	2,687	1,327	367,300	1,360	4,528	265
10月	28	9,673	9,222	3,584	1,687	663,700	1,897	5,638	451
11月	27	11,605	10,947	5,023	2,255	902,450	2,768	5,924	658
12月	24	6,414	6,060	1,795	911	253,950	884	4,265	354
1月	27	10,428	9,995	3,237	1,747	468,850	1,490	6,758	433
2月	25	10,911	9,986	4,531	3,533	976,600	998	5,455	925
3月	27	9,850	9,322	2,720	2,022	711,350	698	6,602	528
年度計	314	107,643	102,384	39,324	24,108	8,698,850	15,216	63,060	5,259

(C)の参考		(D)の参考	
常設展 観覧者数	特別展 企画展 観覧者	講座等 参加者	ゆめ・体験ひろば 入場者
人	人	人	人
541	4,001	506	2,413
1,236	2,109	317	2,375
1,451	-	172	1,347
771	1,797	346	1,532
431	3,410	361	1,984
2,508	179	115	2,111
1,482	2,102	495	2,757
1,450	3,573	742	3,535
1,795	-	189	1,774
3,237	-	368	3,321
4,531	-	176	2,008
1,698	1,022	554	2,557
21,131	18,193	4,341	27,714

※1 館外活動(B)の主な内訳…出前授業や県政出前講座
 ※2 入場者数(D)の主な内訳…無料スペースを訪れた数、ゆめ体験参加者、講座等参加者
 ※3 令和5年4月1日(土)～令和5年10月13日(金) 工事休館

展示概要等

■屋外展示

館庭は縄文時代と弥生時代の遺跡で、一部が県指定史跡となっている。発掘調査の成果をもとに弥生時代の竪穴住居を復元しており、その背後にある方形周溝墓は弥生時代後期の有力者の墓である。

■常設展示—埼玉における人々のくらしと文化—

常設展示のメインテーマは「埼玉における人々のくらしと文化」である。歴史を常に庶民の立場から見ていくという思想で貫き、庶民の力強さをダイナミックに表現することを基本姿勢としている。また、「見せる博物館」から「見る博物館」へ、「教える博物館」から「自ら学ぶ博物館」へをキャッチフレーズに、資料や研究データを通して観覧者と博物館が共に考えていこうという展示構成となっている。

プロローグ 大地に読む歴史

エントランスロビーの天井に届くようにそびえるのは、さいたま市大宮区の寿能泥炭層遺跡で確認された土層の模式断面である。各時代の遺物が出土状況に合わせてはめこまれ、各層の年代と各展示室で展開される展示内容とが対比できる歴史年表となっている。各展示室の入口には、この土層の断面をデザイン化した色別のパネルがあり、観覧の時間軸として利用できるようになっている。

第1展示室 旧石器～弥生時代

常設展示のはじまりは、埼玉の地にいつから人類が住み始めたかを考えるコーナーである。武蔵野台地や大宮台地を中心とした遺跡や出土遺物から旧石器文化を紹介する。内陸深く入りこんだ“奥東京湾”の周辺から出土した土器・漆器・木製品などから縄文人のくらしを表現している。大陸から伝えられた稲作や新たな技術はやがて東国にも達する。コメづくりのムラが生まれ、ムラとムラをたばねる首長が成長していく弥生時代を、東日本の出土遺物の比較や方形周溝墓などから表現している。

第2展示室 古墳時代

古墳時代は、ヤマト王権が生んだ前方後円墳などの大きな墓が日本列島の広い範囲を覆う交流関係のなかで展開する。埼玉県域でも3世紀中ごろには古墳が出現する。古墳時代中期には埼玉古墳群(特別史跡)が築造されるが、最初に築かれた稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣(国宝)にはワカタケル大王(雄略天皇)に仕えた武人の歴史が記されている。ここからは、埼玉県域を含む東国がヤマト王権の軍事的基盤として重視されていたことがわかる。また、古墳時代には農具や、馬の導入がはかられ、技術の革新が進んだ時代であったことを伝える。

第3展示室 奈良～南北朝時代

「武蔵武士」を基本テーマとする。ここではまず、考古資料を用いて、律令制下における支配や人々の暮らしに関する展示を行う。平安時代に地方支配が動揺すると、各地で武装した領主層が台頭し始める。こうしたなか、県域では武蔵武士が登場する。その台頭過程や活躍ぶり、信仰や日常生活の様子などについて、工芸品・絵巻物・古文書・発掘資料などを使って紹介する。

第4展示室 美術展示室

埼玉県史の流れ(通史)の中では紹介しきれない優れた美術工芸品を、「博物館の中の小さな美術館」である本室で集中的に紹介する。様々な作品を通して美の世界の広がり提示する。

第5展示室 室町～戦国時代

室町・戦国時代の北武蔵では、室町幕府と鎌倉府、戦国大名などの間で戦乱が繰り返された。ここでは、こうした「乱世」を生きた人々の姿をクローズアップする。歴史を彩る武将を輩出した古河公方足利氏・太田氏・北条氏・上杉氏の4家について、工芸品・古文書などを用いて紹介するとともに、

この時代の戦争を特徴づけた「足軽」と呼ばれる雑兵についても展示を行う。あわせて、中世における人々の暮らしと文化も紹介する。

第6展示室（展示ホール） 板碑

鎌倉から戦国時代末期にかけて盛んにつくられた板碑には、長い戦乱の中で暮らした人々の多くの願いが込められている。荒川上流で産出する緑泥石片岩を用いた武蔵の板碑は質量ともに全国一を誇り、武蔵武士の名が刻まれているものもある。ここでは、それらの中から我が国最大・最小のもの、最古のものをはじめ、県内の代表的な板碑を紹介している。また、ときがわ町の慈光寺の開山塔は、室町時代初期の建築様式を伝える我が国現存最古の木造宝塔といわれており、その復原資料を展示している。

第7展示室 江戸時代Ⅰ

江戸幕府のお膝元となった埼玉県域における支配の特色を、大名・旗本などの領主とその村支配の在り方、交通・宗教・文化などの制度を通して紹介する。領主については、川越・忍（行田）・岩槻・岡部に配置された大名と旗本に関する資料や城の模型を中心に展示している。村の支配については、年貢制度や、日常生活の規制などを高札や古文書により表現している。また、中山道や日光道中、利根川に設けられた関所の様子、幕府の寺院統制やキリシタン禁制、学芸、民間信仰などを取り上げている。

第8展示室 江戸時代Ⅱ

江戸時代の埼玉は、河川改修や用水路等の整備などにより、耕作地が増えて米の収穫量が増大した。そして、河川交通の発達とともに、各地で地場産業が盛んとなり、商品作物も作られるようになった。こうした様子を見沼代用水構造図や高瀬船模型・藍玉・紅餅・茶甕・古文書などを通して紹介している。また、幕藩体制が大きくゆらぎはじめる幕末の様子は、武州一揆や黒船来航などの資料によって紹介している。

第9展示室 明治時代～現代

明治期の埼玉は、政府の富国強兵の方針のもとでの殖産興業政策により、地場産業の近代化と産業基盤の整備を推進した。大正・昭和戦前期になると、大衆運動が盛り上がりを見せたが、昭和恐慌を契機にやがて長い戦争へと突入していき、県民・県土は疲弊した。敗戦後の埼玉は、産業・経済の復興をなしとげ、内陸型の工業県として目覚ましく発展した。ここでは、近現代埼玉の歩みを行政・産業・経済を中心に紹介するとともに、暮らしの変化の様子や、埼玉の地場産業なども取り上げている。

第10展示室 民俗展示室

民俗展示室は令和5年10月に全面的な展示替えを行い、「火と暮らし」というテーマで埼玉県における「火にまつわる民俗」を紹介している。展示は、「山の暮らし」「里の暮らし」「都市の暮らし」「現代の暮らしと火」の4部構成となっている。それぞれの地域・時代の暮らしと火とのかかわりについて、生業や祭り、火災に関する資料などを展示している。また、ミニテーマを設けて展示替えを行うコラム展示や、往時の農家の雰囲気再現した「農家のいろり」コーナーもある。

■特別展示室

企画テーマに沿った特別展などを開催する展示室である。年数回の特別展・企画展を開催し、毎回好評を博している。企画の内容は、より広い視点から埼玉の歴史と文化を比較・理解できるよう、県内だけでなく、関東あるいは全国を対象を広げてテーマを設定している。

■季節展示室

この展示室は、常設展示室と特別展示室を結ぶ場所に位置している。窓から野外の竹林・石灯籠を眺めることができ、安らぎの場となっている。小さな特集展示や特別展のサブ展示室としても活用法

れる。

■ゆめ・体験ひろば

「ゆめ・体験ひろば」は、世代間交流ができる体験学習施設で、それぞれに特色ある機能と設備を持つ4つのエリアで構成されており、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様なプログラムを提供している。

第1エリア 自由自在座

入館者が多様なハンズオン展示装置を自由に選択し、自在に楽しむ体験展示として、浮世絵版画の工程を体験する「浮世絵スリスリマシン」、歌舞伎などで用いられる擬音楽器を使って楽しむ「日本の音で遊ぼう」、江戸時代の提灯や行灯をのぞき窓から覗く「灯りの今昔」、ヒモを引いて目や口を動かし複雑な仕掛けを理解する「人形芝居」などを設置している。

また、「昔のくらしと道具」のブースは、昭和30年代の農村の住居・町の住居の食卓や道具などの展示を見ながら、昔の生活道具を学べるコーナーとなっている。

第2エリア 学び文庫

本棚には、埼玉県にまつわる本や図録、歴史・民俗・芸術に関する一般書籍、子ども向けの学習まんがなどが並んでおり、調べ学習のための参考図書をゆったり閲覧することができる。開館時間中はいつでも利用できる。

第3エリア ものづくり工房

「ものづくり工房」では、郷土に伝わる伝統文化のわざとところを、体験を通して学ぶことができ、藍染めや江戸組紐といった伝統工芸や地場産業をテーマとしたものづくりメニューを、常時数種類体験することができる。通常体験メニューとは別に、藍染めストールや江戸組紐帯締めなど、成人対象の本格的な特別体験メニューも提供している。

第4エリア 昭和の原っぱ

屋外広場に、木製電柱や土管、ホーロー看板やスバル360などのディスプレイにより、昭和30～40年代のロケーションを再現したエリアが「昭和の原っぱ」である。

ここでは、ベーゴマやけん玉、フラフープといった昔懐かしい遊び体験コーナーや駄菓子屋を常設するとともに、季節に応じて、「射的遊び」や「ポン菓子作り実演」などのノスタルジックイベントも開催する。

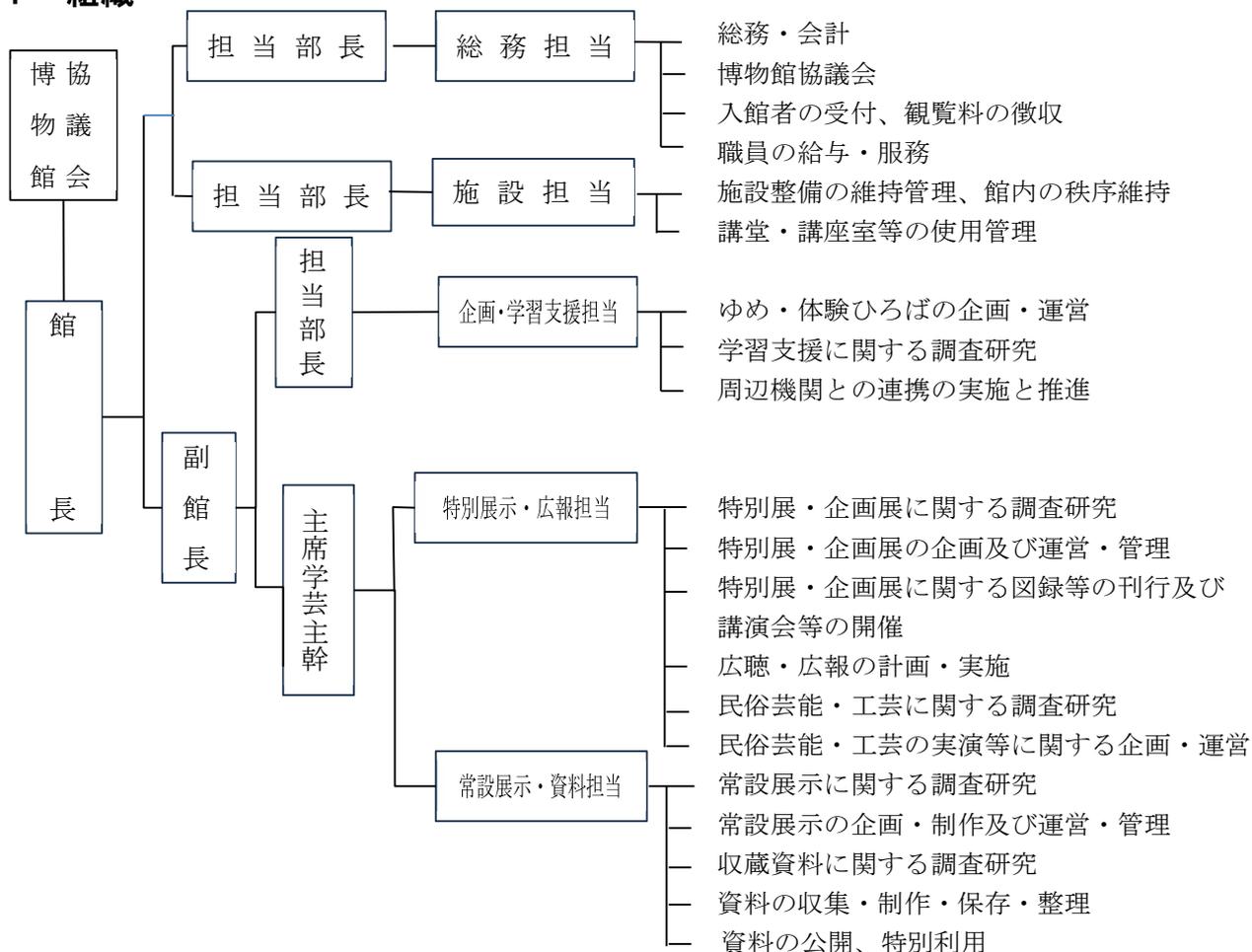
人それぞれに懐かしくもあり、新鮮でもある「昭和の原っぱ」は、かつてガキ大将で鳴らした団塊の世代の大人たちと、IT世代の現代っ子たちが、遊び文化の継承を通じて世代間交流ができる空間を提供している。

このように、特色ある4つのエリアから成る「ゆめ・体験ひろば」では、入館者はもとより、専門分野を担う博物館クルーや体験ボランティアなどが運営のサポートにあたることにより、「だれもが主役になれる博物館」づくりを進めている。

また、各施設は、ユニバーサルデザインに基づき、「誰にもやさしい博物館」として、安全に楽しく見学や体験ができるようになっている。

組織及び職員構成（令和7年4月1日現在）

1 組織



2 職員名簿

職名	氏名
館長	栗岡 眞理子
◎学芸全般 副館長	森内 優子
○総務担当 担当部長	小久保 達夫
主任	森 寿子
主任	富田 瑞季
主事	戸谷 慎斗
主事	門倉 実能
会計年度任用職員	蝦名 咲稔
○施設担当 担当部長	栗林 雅志
主任	真中 博行
主任	西村 晃斗
主事	嚮田 蓮斗
○企画、学習支援担当 担当部長	芋川 修武
主任学芸員	服部 陽泰
担当課長	後藤 泰典
担当課長	金丸 沙羅
学芸員	尾崎 夏穂
主事	渡辺 穂香
学芸員	井上 萌香

職名	氏名
学芸員	山田 拓実
○特別展示・広報、常設展示・資料担当 主席学芸主幹	井上 かおり
[特別展示・広報担当] 学芸主幹	池田 伸子
主任	大見 薫
学芸員	木村 遼之
学芸員	井上 海実
学芸員	別所 鮎史
学芸員	黒田 千尋
学芸員	小松 和史
学芸員	津金 滯乃
[常設展示・資料担当] 主任学芸員	大橋 毅
学芸員	西川 眞理子
学芸員	濱田 翠
学芸員	駒見 敬祐
学芸員	中島 萌
学芸員	佐藤 夏美
学芸員	川邊 絢一郎

3 埼玉県立歴史と民俗の博物館協議会委員名簿

任期 令和6年5月26日から令和8年5月25日まで

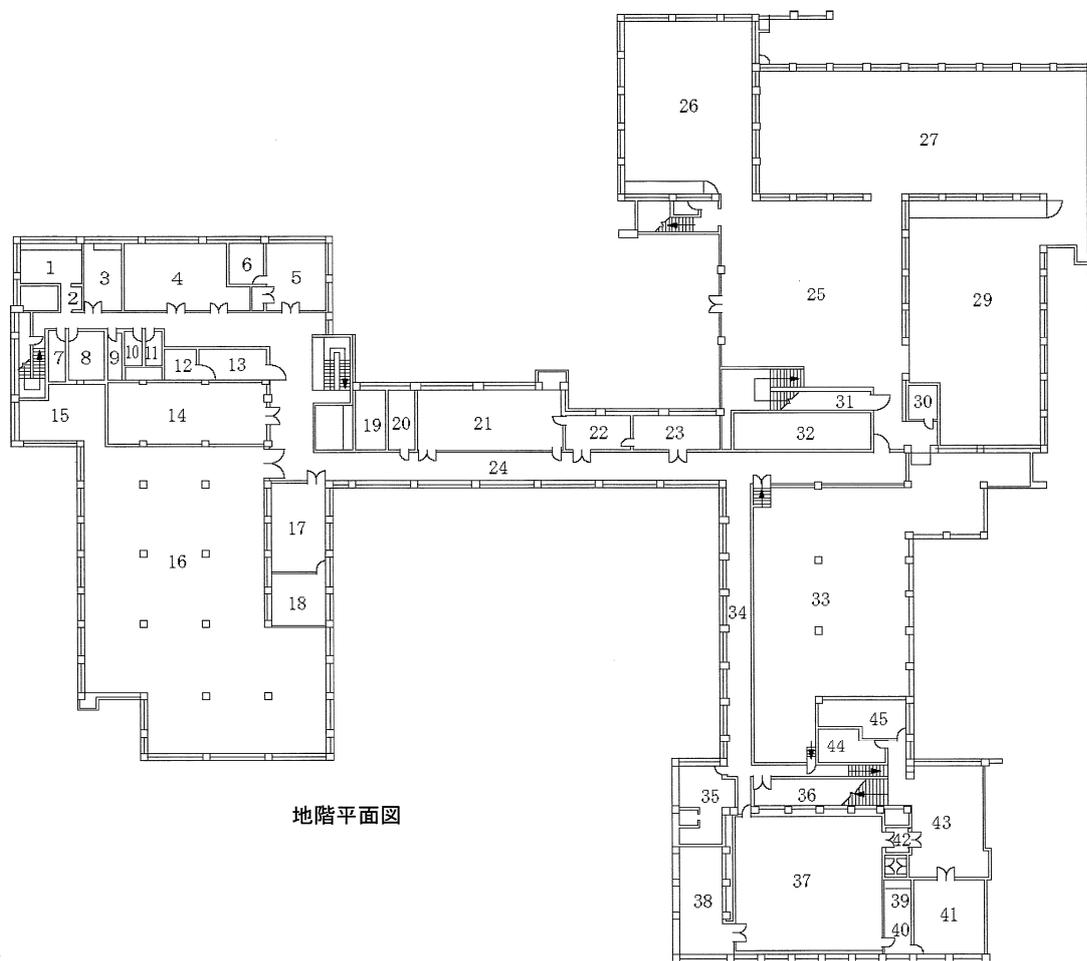
(選出区分別 敬称略 職名等は令和7年7月1日現在)

選出 区分	ふりがな 氏名	職名等
学校教育 関係者	しのだ かなえ 篠田 かなえ	熊谷市立玉井中学校長
	たなか たつや 田中 達哉	県立鳩山高等学校長
	たなか みちこ 田中 理子	県立狭山特別支援学校長
社会教育 関係者	ふかさわ かつみ 深澤 克巳	一般社団法人埼玉県子ども会連合会副会長
	まえかわ やすえ 前川 康恵	埼玉県地域婦人会連合会理事
家庭教育 関係者	えだ あきこ 江田 明子	埼玉県家庭教育振興協議会理事
	なかむら としこ 中村 淑子	前さいたま市立仲町小学校学校地域連携コーディネーター
学識 経験者	あきやま じゅんこ 秋山 純子	(独) 国立文化財機構東京文化財研究所 保存科学研究センター保存環境研究室長
	い で あさお 井出 朝男	さいたま市北区植竹町1丁目自治会長
	かさはら たかし 笠原 孝志	元国家公務員
	かわた じゅうぞう 河田 重三	渋沢栄一記念館資料解説員
	きくち けんさく 菊池 健策	埼玉県文化財保護審議会委員
	しみず ひろゆき 清水 裕幸	会社員
	なかむら だいすけ 中村 大介	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授
	のせ もとこ 野瀬 元子	大東文化大学文学部教授
	みずかみ かよこ 水上 嘉代子	女子美術大学非常勤講師 埼玉県文化財保護審議会委員
	よねやま しろう 米山 士郎	前埼玉新聞社編集局ふるさと報道部部长

施設設備

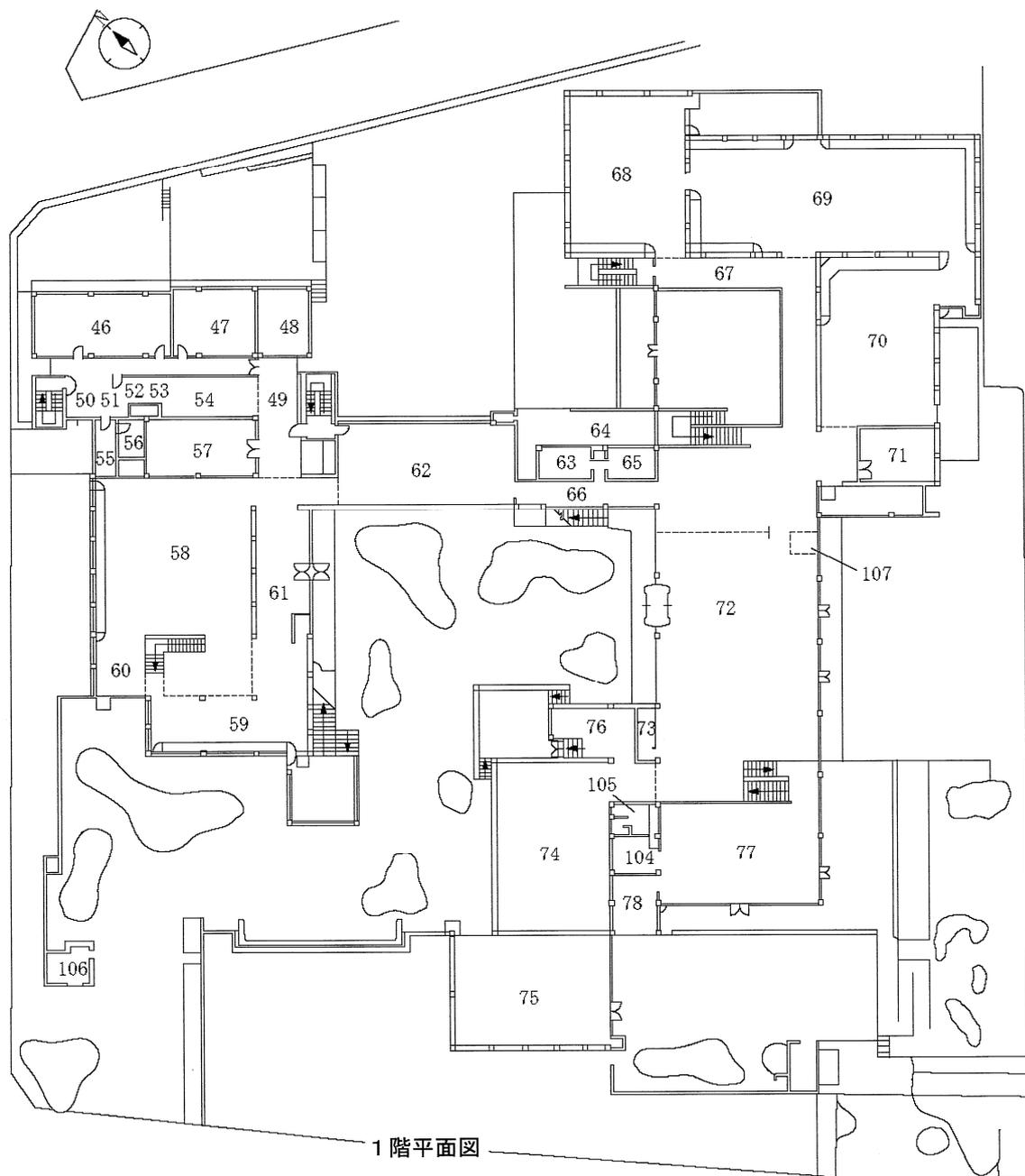
敷地面積 12,753.71㎡ 延床面積 11,363.93㎡

各室配置図及び各室面積表

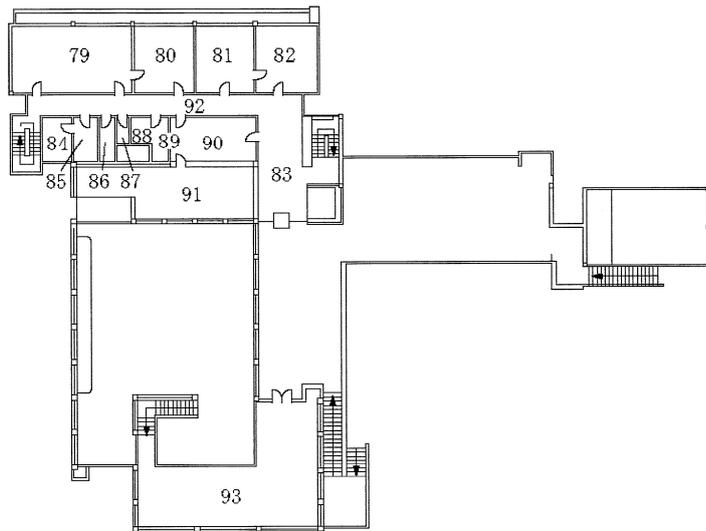


地階平面図

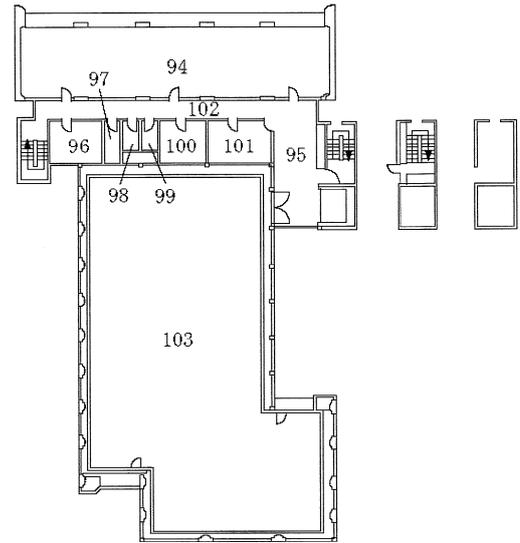
番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡
1	休養室	35.84	16	収蔵庫 2	604.80	32	倉庫 1	47.52
2	湯沸室	7.50	17	図書室 2	52.80	33	空調機械室 1	431.44
3	ボランティアルーム	30.24	18	炭酸ガスボンベ室	33.60	34	廊下	94.32
4	資料保存室	79.20	19	消火水槽	21.60	35	旧食堂事務室	43.92
5	スタジオ	40.32	20	消火ポンプ室	14.40	36	旧食堂倉庫	58.32
6	暗室	17.28	21	変電室	86.40	37	講堂	227.52
7	浴室	9.00	22	中央監視室	23.76	38	講堂準備室	51.84
8	控室	11.70	23	発電機室	32.40	39	音響調整室	10.56
9	男子便所	9.00	24	廊下	373.72	40	湯沸室	18.48
10	女子便所	6.12	25	常設展示室 6	367.74	41	講座室	60.48
11	掃除用具室	6.12	26	常設展示室 7	237.60	42	講堂前室	13.20
12	殺虫消毒室 1	10.26	27	常設展示室 8、9	450.72	43	講堂前ロビー	94.56
13	殺虫消毒室 2	28.50	29	常設展示室 10	320.64	44	男子便所	20.12
14	空調機械室 2	94.80	30	常設展示準備室 2	6.00	45	女子便所	28.60
15	収蔵庫 3	46.50	31	常設展示準備室 3	16.50			



番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡
46	管理事務室	108.00	59	特別展示室1	237.60	71	常設展示準備室1	54.06
47	車庫	64.60	60	休憩室	43.20	72	エントランスロビー	712.80
48	荷扱室	43.20	61	特別展示室エントランスロビー	116.64	73	コインロッカー室	14.40
49	荷解広間	63.36	62	季節展示室	195.84	74	自由自在座	207.36
50	管理棟エントランスロビー	26.88	63	客用男子便所	14.40	75	ものづくり工房	237.60
51	男子便所	9.00	64	みんなのトイレ	7.02	76	ゆめ・体験ひろば準備室	54.48
52	女子便所	6.12	65	客用女子便所	17.18	77	休憩コーナー	207.60
53	湯沸室	3.42	66	廊下	52.48	78	幼児コーナー	37.08
54	荷解梱包室	53.55	67	ギャラリー	144.96	104	自動販売機コーナー	18.47
55	警備員室	16.80	68	常設展示室4、5	237.60	105	倉庫2	8.82
56	救護室	13.20	69	常設展示室2、3	427.68	106	旧正門警備員室	17.55
57	特別展示準備室	72.00	70	常設展示室1	273.18	107	インフォメーション	—
58	特別展示室2	324.00						



2階平面図



3階平面図

番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡		
79	会議室	86.40	92	廊下	66.24	延床面積	11,363.93 ㎡
80	資料熟覧室	43.20	93	特別展示室3	151.20		
81	応接室	43.20	94	学芸事務室	226.80	・展示部門	4,984.38 ㎡
82	館長室	43.20	95	ロビー	51.84	展示室	(3,711.96 ㎡)
83	ロビー	51.84	96	副館長室	26.88	その他	(1,272.42 ㎡)
84	電話交換機室	16.53	97	男子便所	9.00	・収蔵部門	1,416.90 ㎡
85	男子更衣室	10.56	98	女子便所	6.12	・管理部門	4,962.65 ㎡
86	男子便所	9.00	99	湯沸室	3.42	その他	
87	女子便所	6.12	100	調査研究室2	21.12	建築面積	4,529.57 ㎡
88	湯沸室	3.42	101	調査研究室1	26.88	内訳	
89	女子更衣室	10.32	102	廊下	66.24	・本館	4,512.02㎡
90	図書室	38.40	103	収蔵庫1	712.80	・旧正門警備員室	17.55㎡
91	書庫	94.20					

資 料

1 年度別当初予算一覧

単位：千円

年 度	管理運営費	展示事業費	ゆめ・体験ひろば事業費	博物館資料収集管理費	常設展示室展示設備更新事業費	計
平成21	23,319	26,627	6,200	4,292	—	60,438
22	22,633	27,941	5,830	4,135	—	60,539
23	23,194	36,829	5,436	4,456	—	69,915
24	24,395	33,326	8,646	4,268	—	70,635
25	20,647	41,305	6,233	3,991	—	72,176
26	22,855	39,144	6,327	4,032	—	72,358
27	19,891	50,201	5,881	4,127	—	80,100
28	23,303	37,956	5,886	4,215	—	71,360
29	21,193	43,568	5,888	4,281	—	74,930
30	21,055	37,191	5,752	4,331	5,500	73,829
31 令和元	25,072	38,914	5,949	4,461	5,552	79,948
2	21,954	48,307	4,459	6,241	5,603	86,564
3	25,197	48,802	4,250	5,921	5,332	89,502
4	23,409	40,343	4,065	5,198	5,000	78,015
5	25,561	36,014	3,574	5,398	5,000	75,547
6	25,660	51,551	4,539	5,564	5,000	92,314
7	28,110	54,609	4,903	7,685	1,700	97,007

2 入館者数の推移

年 度	開館日数	利用人員	1日平均利用者数	備 考
平成21	184日	90,477人	492	9月14日～2月15日工事休館
22	208日	93,138人	448	11月15日～3月16日休館
23	305日	133,160人	437	
24	310日	126,886人	409	
25	311日	119,953人	386	平成25年7月1日から高齢者の観覧料減免措置廃止
26	310日	135,221人	436	
27	308日	146,203人	475	
28	310日	138,209人	446	
29	309日	142,566人	461	
30	315日	119,103人	378	
31 令和元	284日	104,292人	367	令和元年10月12日～13日台風のため休館 令和2年2月29日～3月31日感染拡大防止のため休館
2	186日	23,424人	126	令和2年4月1日～5月24日感染拡大防止のため休館 令和2年12月24日～3月21日感染拡大防止のため休館
3	306日	58,333人	191	令和3年8月26日～8月30日感染拡大防止のため休館
4	212日	62,125人	293	令和4年12月5日～令和5年3月31日工事休館
5	147日	44,971人	306	令和5年4月1日～令和5年10月13日工事休館
6	314日	102,384人	326	

3 所蔵資料数(令和7年3月31日現在) 127,282点(+20点)

絵画	(+5点) 1,593点	工芸	1,485点	彫刻	36点	書跡	182点
歴史	(+15点) 49,201点	民俗	68,728点	考古	6,024点	模型	33点

4 特別展・企画展一覧

年度	春	夏	秋	冬
昭和 46			(開館記念特別展) 埼玉百年史	
47		縄文の美となぞ	アイヌ文化展	関東の鉄仏
48		寺内萬次郎展	台湾の民具	昔の旅
49		足軽胴と陣笠	東北の美術	小村雪岱展
50	原始の世界	埼玉景勝30選展	齊藤与里展	
51	永田二郎展	埼玉の張り子展	さいたまの肖像展	近代埼玉の書
52	中野四郎作品展		戦国武将展	はにわ展
53	埼玉のやきもの	近世埼玉の文人展	奥原晴湖展	
54	弁当箱にみる用と美		絵馬展	胎内納入品をもつ仏像
55	大久保喜一展		文化財保護法施行30周年記念埼玉 の指定文化財展－美術工芸品	板碑展
56		編む	江戸のよそおい	木と漆の原始工芸 －寿能泥炭層遺跡出土品展－
57			古代東国の薨	
58			(新装開館記念特別展) 武蔵武士	荒川の漁具・漁・祖おやの譜録
59	浮世絵	埼玉・岩手文化交流展 北武蔵 杖刀人とその時代	埼玉・岩手文化交流展 縄文の風景－大地と呪術－	江戸の風俗 －絵筆が語る町人文化－
60	宿場	激動の昭和	(外) メキシコの民芸 －太陽と神々の匠たち－	かお
61	古代の祭祀	(外) 古代メキシコ・オルメカ 文明展	海上之邦おきなわ	武蔵ゆかりの武器・武具
62	秩父－繭そして信仰－	収蔵品展	(外) 埼玉県・山西省友好県省 締結5周年記念－山西省文物展	遊びとおもちゃ
63	日本のあけぼの	収蔵品展	さいたまの円空	古墳－かざり大刀の世界－ 世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆－その美と歴史－
平成 元	世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆－その美と歴史－ 比企－丘陵に生きた人々の暮らし と文化－	収蔵品展	(外) クイーンズランド文化展 －姉妹州の4万年の歴史－	酒の文化史
2	さいたまの海 －縄文人からの伝言－	収蔵品展	南蛮の美術 －異国にあこがれた武将たち－	お金百態－寄託資料 埼玉銀行コ レクションを中心に－
3	音のかたち－日本の音を探る－	収蔵品展	(開館20周年記念展) さいたまの名宝 国宝・重要文化 財	喫茶の考古学－茶の湯再発見－ かたどられた祈り－木・紙・藁の フォークロア
4	かたどられた祈り－木・紙・藁の フォークロア	江戸のからくり夢空間－近代科学 事始	はなのいろはうつりにけり な・・・歌仙絵の世界	鯉絵－鯉が踊れば世も動く－ つぼ・かめ・すりばち－中世のや きものと暮らし
5	つぼ・かめ・すりばち－中世のや きものと暮らし	河童VS天狗 －人と妖怪の交流史－	甦る光彩－関東の出土金銅仏－	奉納された道中アルバム －絵馬にみる寺社参り－
6	相撲－むかしきけちゝぶ殿さへす まふとり－	子育ての原風景 －カミの子からムラの子へ－	検証！関東の弥生文化 －一粒の米が変えたくらし－	最新出土品展 さいたま地中からのメッセージ
7	観・天・望・気 －お天気の世界－	最新出土品展	古代東国の渡米文化	美の匠たち－日本刀をめぐる“わ ざ”の世界－

年度	春	夏	秋	冬
8	美の匠たちー日本刀をめぐる“わざ”の世界ー	最新出土品展	太平記絵巻の世界	歴史を歩く～埼玉の札所めぐり～
9	歴史を歩く～埼玉の札所めぐり～	最新出土品展	女帝明正天皇と将軍家光～松平信綱とその時代～	人形と張り子 桜花爛漫
10	桜花爛漫	最新出土品展	女性はにわーその装いとしぐさー	さいたまの鉄道
11	さいたまの鉄道	さいたま最新出土品展 '99	アイヌの四季と生活 ー十勝アイヌと絵師・平沢屏山ー	さいたまの名宝シリーズ2 ゆ～お風呂の文化史～
12	ゆ～お風呂の文化史～		ー象がゆくー将軍吉宗と宮廷 雅	発掘された日本列島2000・さいたま出土品展
13		発掘調査速報展	(開館30周年記念展) 埼玉の名宝シリーズ3ー神楽の風景ー	めざせ日本の近代化 ～日本の産業育てた渋沢栄一～
14	KEMARIー蹴鞠ー	発掘調査速報展	開設四百年 中山道ー武州往来ー	
15		埼玉の名宝シリーズ4 めざめろ 古代ー新指定の考古資料ー	平林寺	銀座復興絵巻
16	銀座復興絵巻	埼玉県発掘調査速報2004	国宝太刀・短刀と太平記絵巻	羽子板の美とわざ 年中行事絵巻
17	年中行事絵巻	あの遺跡この遺物ー埼玉発掘50年史ー	刻まれた鼓動 ～歓喜院聖天堂の彫刻建築～	
18	芸能絵巻～舞い踊り囃す～	天下をまわって1300年 お金がめぐる社会史	由来 伝来 名刀の一千年	祈りの風景 埼玉の絵馬
19	祈りの風景 埼玉の絵馬	博物館発→ちいさな旅 ー埼玉遊覧案内ー	お伊勢さんと武蔵	日本の色彩～藍・紅・紫～
20		埼玉サッカー100年	名もなき至宝ーうけつがれし重要有形民俗文化財ー	誕生 武蔵武士
21		いただきます～食の文化史～	出張博物館in深谷	雑兵物語の世界
22	雑兵物語の世界	ヒーロー参上	仏教伝来 埼玉の古代寺院	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道
23	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道	あそび漫遊	(開館40周年記念展) 円空 ところを刻む ー埼玉の諸像を中心にー	大名と藩-天下泰平の立役者たち-
24	大名と藩 -天下泰平の立役者たち-	にほん美術夏期学校	職人のわざとカタ ー商品の誕生ー	埼玉歴史街道Ⅰ -『新編武蔵風土記稿』の世界-
25	発掘された木の道具	絵で語る埼玉の民話 -池原昭治 童絵の世界-	狩野派と橋本雅邦 -そして近代日本画へ	圏央道の遺跡 ～埼玉の発掘調査 西から東から～
26	渋沢敬三没後50周年記念事業 屋根裏部屋の博物館 -Attic Museum-	にっぽん歴史街道 江戸の街道(みち) ～絵図でだどる宿場と関所～	甕の鉄剣	埼玉の自由民権
27	氷川神社と大宮公園	戦国図鑑 ーCool Basara Styleー	慈光寺 国宝 法華経一品経を守り伝える古刹	
28	蔵出し資料 ー館有コレクションの優品ー	高麗郡1300年 ー物と語りー	徳川家康 ー語り継がれる天下人ー	祝いの民俗 ーハレの造形ー
29	縄文の空間 ー暮らしと願いー	くらべる古美術 ー見て考える美術のひみつー	上杉家の名刀と三十五腰	明治天皇と氷川神社 ー行幸の軌跡ー
30	田んぼ ー埼玉、人と水の風景ー	古文書 大公開! ーみる・よむ・しらべる埼玉ー	ダムと変わる! 私たちの暮らし!	埼玉の官衙 ー律令時代の“お役所”ー
31 令和元	東国の地獄極楽	北沢楽天と時事漫画	子ども／おもちゃの博覧会	縄文時代のたべもの事情
2	武蔵国の旗本 (感染拡大防止のため全日程休館)	太平記絵巻 (感染拡大防止のため開催延期)	新収集品展2018・2019	銘仙 (感染拡大防止のため全日程休館)
3	(NHK大河ドラマ特別展) 青天を衝け ～渋沢栄一のまなざし～	太平記絵巻 ー描かれた武士の世界ー	(埼玉150周年及び開館50周年記念展) 埼玉考古50選	お茶を楽しむ
4	埼玉武術英名録 共催展 昌国寺	発掘された日本列島2022 地域展「埼玉の国指定史跡」	銘仙	

年度	春	夏	秋	冬
5	(出張展示 in 深谷) 書画から見よう 栄一と惇忠		縄文コードをひもとくー埼玉の縄文土器とその世界ー	鉢形城主 北条氏邦
6	鉢形城主 北条氏邦	お金を出して！ーお金のふしぎ探検隊ー	鷹のおでましー鷹狩の美術ー	はたらく装いのフォークロア
7	はたらく装いのフォークロア	名所 大宮ー鉄道のみち・公園のみちー	大名と菩提所	埼玉の宝物

利用案内

◆展示室等の観覧について

1 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

※ 7月1日から8月31日までは、午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

2 休館日

- (1) 月曜日（ただし祝日及び振替休日、8月4日、3月23日は開館）
- (2) 年末年始（12月29日から1月1日まで）
- (3) 館内消毒及び展示替えのため休館（6月2日から6月9日まで及び9月8日から9月9日）

3 展示解説

- (1) 各展示室では、ボランティアが御希望に応じて解説・案内します。
- (2) 団体見学の場合は、10日前までにお申し込みください。

4 観覧料

- (1) 常設展示： 一般 300円（200円） ※（ ）内は団体（20人以上）料金
 高校・学生 150円（100円）

(2) 特別展・企画展開催期間中は別に定めます。

(3) 次の方は無料で観覧できます。

- ① 義務教育修了前（中学生以下）の方
- ② 障害者の方（身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けている方）
- ③ 上記障害者の介護の方（障害者一人につき一人）

※ 65歳以上の方の観覧料につきましては、条例改正により、平成25年7月1日から一般の方と同額になりました。

5 観覧料の免除とその手続き

(1) 次の場合は、「観覧料等減額（免除）申請書」に、実施計画書等を添付の上、観覧日の10日前までに提出していただくことにより観覧料を免除します。

- ① 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する幼稚園、保育所園、小・中学生の引率の方
- ② 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する高校・大学生・各種学校等の生徒とその引率の方
- ③ 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、他の地方公共団体が開催する歴史と民俗の博物館の資料に関する事業（講演会、講習会、研究会等）を企画した主催（引率）の方
- ④ 埼玉県又は埼玉県教育委員会が開催する全国会議・ブロック会議・研修会等に参加し、会議又は研修会の日程の一環として観覧する方

(2) 次の場合は、視察依頼書を提出していただくことにより観覧料を免除します。

- ① 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、地方公共団体又は市町村等関係機関関係者で、歴史と民俗の博物館の事業及び施設設備の視察を目的とした観覧

(3) 次の場合は、インフォメーションにお申し出いただくことにより観覧料を免除します。

- ① 教育課程に基づく学習活動のための下見をする方
- ② 歴史と民俗の博物館に資料を寄贈、寄託している方
- ③ 歴史と民俗の博物館が発行する優待券、招待券、ボランティア登録証をお持ちの方

6 問合せ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 総務担当
 電話 048-641-0890 F A X 048-640-1964

◆講堂・講座室について

1 施設の概要

- (1) 講 堂 面積 227.52㎡ 収容人員 162人
- (2) 講座室 面積 60.48㎡ 収容人員 30人

2 利用料金

種 類	項 目 (貸 出 単 位)	金 額
施 設 使 用 料	講 堂 (1 時 間)	630円
	講 座 室 (1 時 間)	160円
附 属 設 備 使 用 料	音 響 設 備 (1 回)	110円
	ビ デ オ プ ロ ジ ェ ク タ ー (1 回)	840円

- (1) 附属設備については、利用開始からその日の利用終了までで1回とします。
- (2) 使用料が減額又は免除になる場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

3 注意事項

- (1) 次の場合、施設の御利用はできませんので、御了承ください。
 - ① 博物館の管理上支障があると認められるとき。
 - ② 公共の福祉を阻害するおそれがあると認められるとき。
 - ③ その他博物館の設置の目的に反すると認められるとき。
- (2) 施設利用を許可するにあたり、必要がある場合は、条件を付したり、制限を加えたりすることがあります。
- (3) 施設を利用できるのは、開館日の開館時間内のみです。
- (4) 利用時間には、準備及び片付けの時間も含まれます。
- (5) 利用を終了したときは、施設の状態を速やかに利用前の状態に戻してください。
 施設や設備を損傷したり、備品等を紛失したり損傷したりしたときは、それを修理し、損害を賠償していただきます。
- (6) 附属設備、長机、予備椅子を利用したい場合は、事前に申し出てください。
- (7) 研究会等で図録等を販売しようとするとき、又は特別の設備等を利用しようとするときは、事前に申し出てください。
- (8) 講堂・講座室は地下1階にあり、エレベーター、スロープ等はありません。

階段昇降機が設置されておりますので、車椅子で御利用になる場合は、職員が操作いたします。
遠慮なくお申し出ください。

(9) 展示室は有料となりますので、展示室を御利用の際は観覧券をお買い求めください。

4 利用申込み

- (1) 原則として、利用日の属する月の3か月前の初日（その日が休館日である場合にはその翌日）から、利用日の7日前（その日が休館日である場合にはその前日）までに、埼玉県立歴史と民俗の博物館事務室まで「施設等利用（変更）許可申請書」を提出してください。空き状況は電話で確認することができます。
- (2) 予約及び申請の受付時間は、開館日の開館時間内のみです。
- (3) 申請に基づき、「施設等利用（変更）許可書」及び使用料の「納入通知書」を発行します。
- (4) 使用料については、「納入通知書」により、最寄りの金融機関等で納入期限までに納入してください。

5 申込み・問合せ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 施設担当
電話 048-641-0890 F A X 048-640-1964

◆資料の写真原板使用及び資料写真撮影・熟覧について

当館の所蔵資料で写真原板があるものについては有料で御利用いただけます。
また、保存上などで問題がない資料については、写真撮影・熟覧の取扱いをいたします。

申込み・問合せ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 常設展示・資料担当
電話 048-645-8171 F A X 048-640-1964

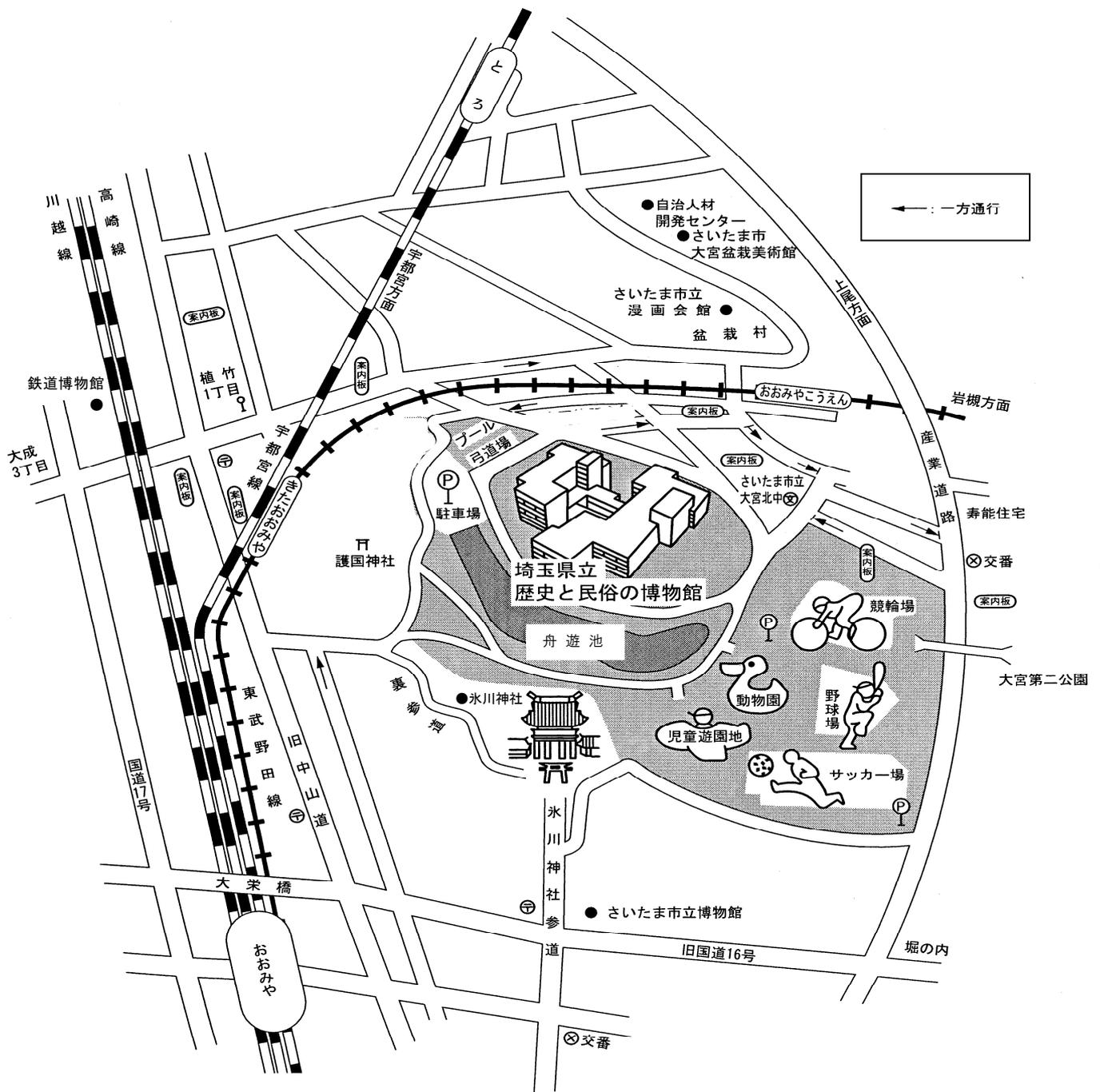
◆資料の寄贈受入について

資料の寄贈希望がある場合は、常設展示・資料担当に御一報ください。事前調査をしたのち、書類手続きを行います。その後、資料評価委員会に諮り、審議したのち正式に受け入れます。

※ 当館の資料受入基準から外れるもの、すでに同様の資料が収蔵されている場合などは、事前調査をすることなくお断りする場合がありますので御了承ください。

申込み・問合せ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 常設展示・資料担当
電話 048-645-8171 F A X 048-640-1964



◆交通案内

東武アーバンパークライン<野田線> 大宮公園駅下車 徒歩5分
 JR宇都宮線 土呂駅下車 徒歩18分



埼玉県のマスコット コバトン

令和7年度 埼玉県立歴史と民俗の博物館要覧（第20号）
〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地
TEL 048-645-8171（学芸）
TEL 048-641-0890（総務・施設）
FAX 048-640-1964
ホームページURL <https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/>

発行：令和7年7月